

官庁施設情報管理システム (BIMMS-N)を活用した 個別施設計画策定・運用マニュアル

平成27年10月策定
平成28年 4月改訂

国土交通省 大臣官房官庁営繕部
計画課 保全指導室

目次

第1 目的及び個別施設計画の構成	
1. 1 背景及び目的3
1. 2 施設管理者の取組5
1. 3 個別施設計画の構成	
① 保全台帳7
② 中長期保全計画9
1. 4 官庁施設情報管理システム(BIMMS-N) の概要10
第2 保全台帳の作成	
2. 1 点検記録情報の管理12
2. 2 修繕履歴情報の管理16
第3 中長期保全計画の作成	
3. 1 中長期保全計画の作成21
3. 2 中長期保全計画の見直し26
3. 3 中長期保全計画の集計46



第1 目的及び個別施設計画の構成

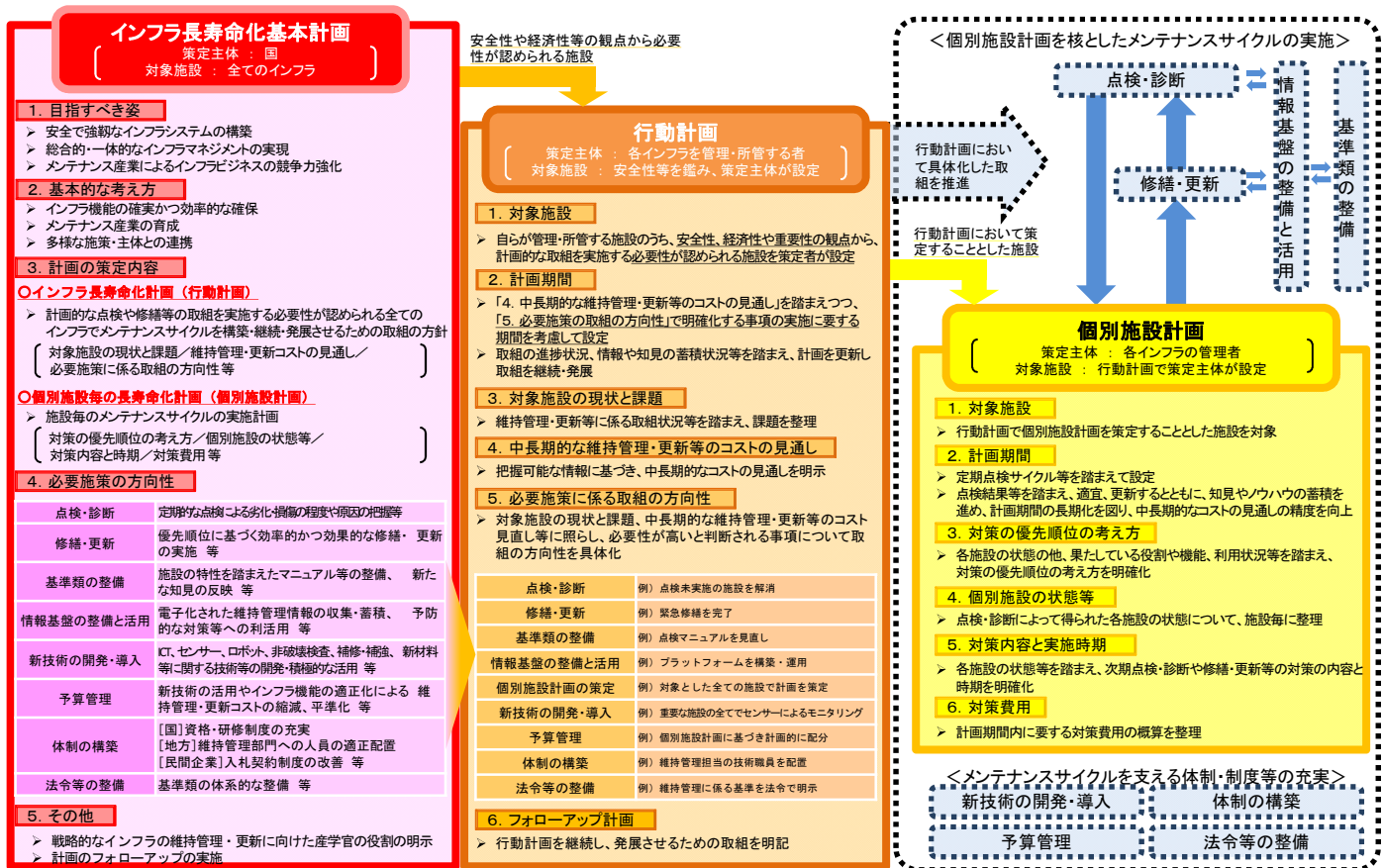
1.1 背景及び目的

- 我が国の社会資本は、今後急速に老朽化することが見込まれ、また、少子高齢化による人口減少時代を迎える中、財政状況はますます厳しくなることが予想されます。
- このような状況の中、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新等に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すものとして、平成25年11月、「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。
- 基本計画において、各インフラを管理・所管する者が平成28年度までに行動計画を策定すること、各インフラの管理者が平成32年頃までに個別施設計画を策定することとされています。

インフラ長寿命化基本計画等の体系(イメージ)

概要及び本文は以下のページにあります。

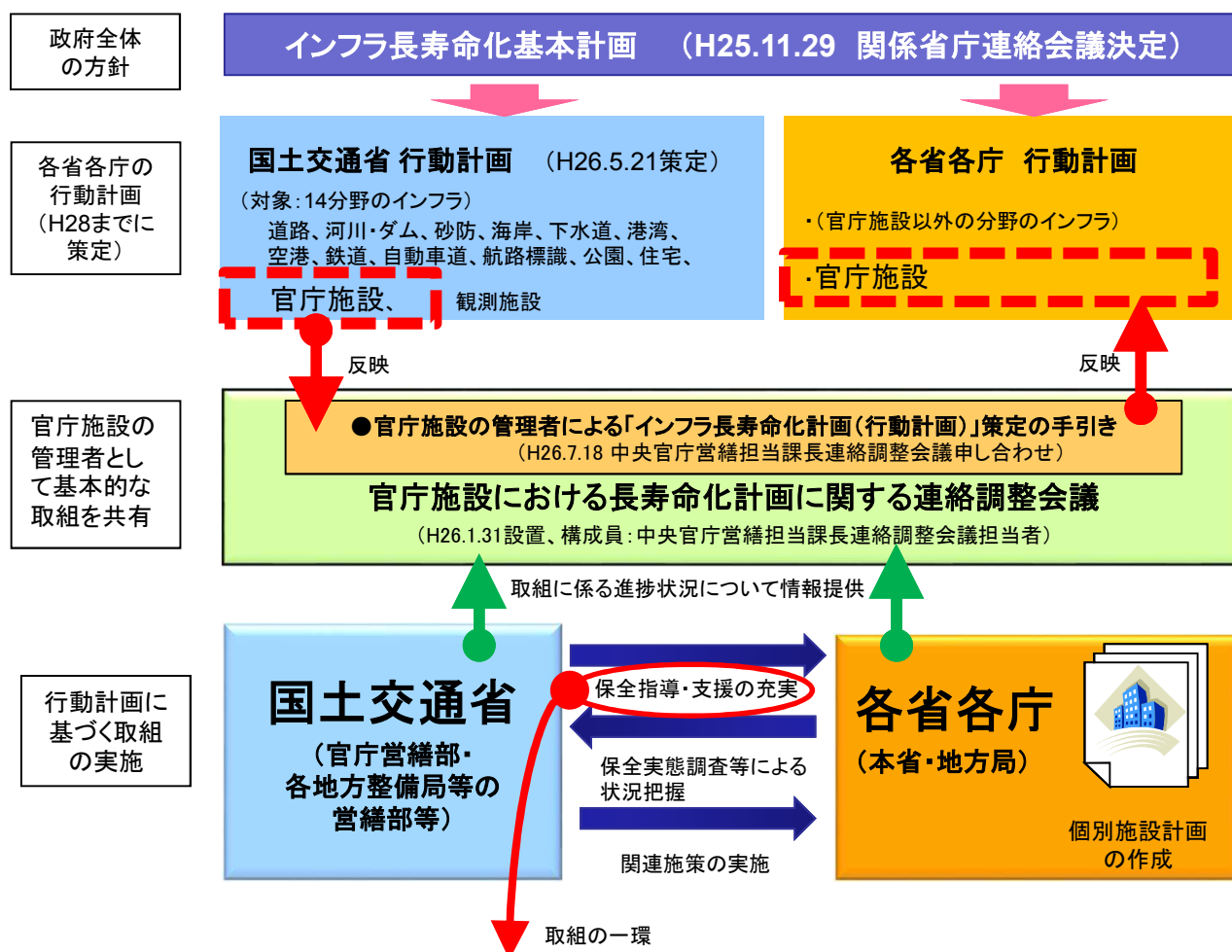
http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infra_roukyuuka/index.html



1.1 背景及び目的

- 本マニュアルは、行動計画に基づき策定する個別施設計画について、「官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)」を活用した作成例を示すことにより、各省各庁による個別施設計画作成を支援することを目的としています。
- なお、BIMMS-Nによらず個別施設計画を策定している場合は、改めてBIMMS-Nで作成する必要はありません。
- 本マニュアルは、「官庁施設における長寿命化計画に関する連絡調整会議」を通じた技術支援の一環として作成したものです。

官庁施設分野におけるインフラ長寿命化計画の推進体制



●「官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)を活用した個別施設計画策定・運用マニュアル」の周知

1.2 施設管理者の取組

- 「官庁施設の管理者による「インフラ長寿命化計画(行動計画)」策定の手引き」(中央官庁営繕担当課長連絡調整会議申し合わせ)において、借受施設を除くすべての官庁施設※¹について、平成28年度までに個別施設計画を策定することとなっています。
- 施設管理者は、作成した個別施設計画に基づき、戦略的な維持管理・更新等を推進していく必要があります。

※1 建築基準法第12条第2項及び官公庁施設の建設等に関する法律第12条第1項に規定する定期点検の対象施設。

官庁施設の管理者による「インフラ長寿命化計画(行動計画)」策定の手引き(概要)

概要及び本文は以下のページにあります。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000008.html

- (1)対象施設 全ての官庁施設。ただし、借受施設を除く。
(2)計画期間 2020年度(平成32年度)までを目安とする。
(3)必要施策に係る取組の方向性
- ・下表に示す8施策について、共通して実施する取組を記載。
 - ・取組は、国交省の行動計画(官庁施設分野)をベースにしており、4施策については、同一指標を設定(※)。
 - ・施設の特異性等の特別な事情がある場合には、本手引きによらずに行動計画を策定することができるが、次の内容は最大限尊重。

1. 点検・診断／修繕・更新 (※)良好な施設の割合(H29年度:80%)	5. 新技術の開発・導入
2. 基準類の整備	6. 予算管理
3. 情報基盤の整備と活用 (※)官庁施設情報管理システムへの情報の登録 (計画策定年度:100%)	7. 体制の構築 (※)施設保全責任者の設置(計画策定年度:100%)
4. 個別施設計画の策定・推進 (※)計画の策定率 (H28年度:100%)	8. 法令等の整備

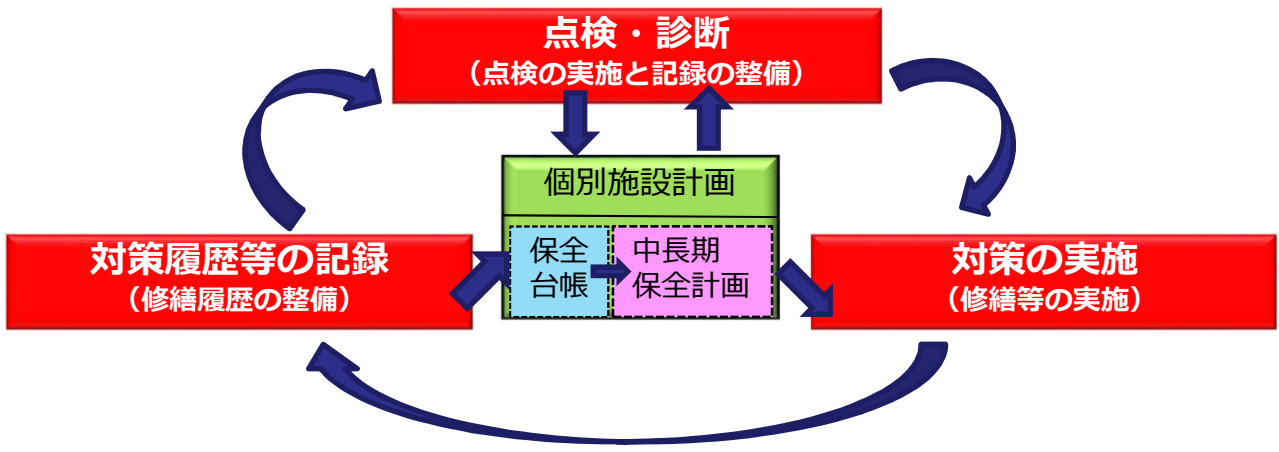
- (4)フォローアップ計画 フォローアップの詳細は、別途、官庁施設における長寿命化計画に関する連絡調整会議において定める。

1.3 個別施設計画の構成

- 個別施設計画は、個別施設毎のメンテナンスサイクルの実施計画として、「対策の優先順位の考え方」、「個別施設の状態等」、「対策内容と時期」、「対策費用」等を記載したものです。
- 官庁施設における個別施設計画は、「保全台帳」と「中長期保全計画」で構成します。(必要に応じて、機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策を追加)

個別施設計画を核としたメンテナンスサイクルの構築

計画的かつ効率的な修繕等の実施によって、官庁施設の長寿命化を図り、トータルコストの縮減・平準化を実現



官庁施設における個別施設計画

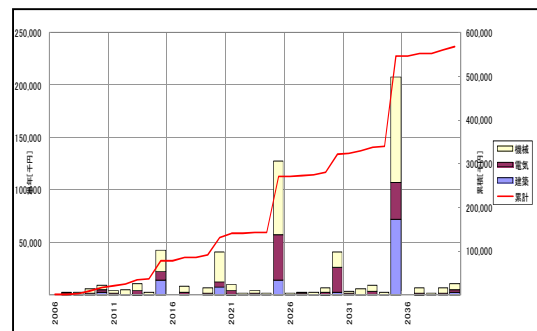
保全台帳

- 点検履歴 (点検記録)
- 修繕履歴

点検記録		
	点検・確認項目	関係法令
1	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	
5	<input type="checkbox"/>	
6	<input type="checkbox"/>	
7	<input type="checkbox"/>	

中長期保全計画

- 施設の運用段階における保全 (修繕) の実施内容、予定年度、概算額に係る計画



1.3① 保全台帳

活用方法

- 法定点検や支障がない状態の確認の結果を記録した点検記録から、施設の状態を踏まえた次期の改修(修繕)等の時期を想定することができます。
- 修繕の内容や金額を記録した修繕履歴を反映することで実態に合った中長期保全計画を作成することができ、効率的な保全(修繕)の実施に役立ちます。

「修繕履歴」として記録する対象

- ①「部品交換」
- ②「補修」
- ③「修理」
- ④「修繕」
- ⑤「改修」
- ⑥「全面リニューアル」
- ⑦「新築」「増築」

保全上、全ての「履歴」を記録することが望ましいです。

○ 計画的な改修が必要で多額の費用を要する「主要な部位・設備の工事履歴」は確実に記録しておくことが重要です。

【保全台帳】修繕履歴

【BIMMS-Nによる修繕履歴情報管理】
主要な部位・設備の工事履歴(上記④~⑦ 100万円以上)

日常の維持管理、補修等の履歴
(上記①~④ 100万円未満) ※(BIMMS-Nへの入力も可)

保全台帳の主な活用内容

	活用内容
1. 施設の現状把握	① 施設の現状把握(経年や修繕頻度による老朽度の推測)
	② 工事受注者の把握
	③ 改修(修繕)工事の企画・立案にあたっての現状把握(2. ①と重複)
	④ 改修(修繕)設計にあたっての現状把握
2. 次期の改修(修繕)時期の想定	① 営繕工事の企画・立案への活用
	② 中長期保全計画作成への活用(3. ①と重複)
	③ 次期の改修(修繕)時期の想定
	④ 施設特別整備要求の添付資料
3. 適正な保全・長寿命化の推進	① 個別施設計画として位置づけ

【保全台帳】点検及び確認履歴

【BIMMS-Nによる点検記録情報管理】
法定点検の履歴
支障がない状態の確認履歴

1.3① 保全台帳

様式の取扱いについては以下のページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000002.html

作成例(点検記録) (保全台帳様式2)

点検及び確認記録

施設名称：【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)

保全台帳 様式2

点検・確認項目	関係法令	対象の有無 (有:○,無:×)	点検周期	最終点検 実施年月	次回点検 実施年月	実施結果	問題の内容	備考
1 建築物の敷地及び構造の点検	建築法第12条 官公法第12条	○	3年	2013年7月	2016年7月	問題なし		
2 建築物の敷地及び構造の点検	建築法第12条 官公法第12条	○	10年	2013年7月	2023年7月	問題なし		外壁タイル点検(全面打診調査)
3 昇降機の点検	建築法第12条 人事院10-4第32条	○	1年	2015年7月	2015年8月	問題なし		昇降機保守点検業務
4 昇降機の点検	建築法第12条 人事院10-4第32条	○	1年	2014年10月	2015年10月	問題なし		
5 建築物の昇降機以外の建築設備の点検	建築法第12条 官公法第12条	○	1年	2014年11月	2015年11月	問題なし		
6 支障がない状態の確認	国交省告示	○	6月	2015年2月	2015年8月	問題なし		自動扉については3ヶ月毎
7 消防用設備等の点検	消防法第17条	○	6月	2015年6月	2015年12月	問題なし		消防設備保守点検業務
8 危険物を取り扱う一般取扱所等の点検	消防法第14条	×				対象外		
9 事業用電気工作物の保安規定による自主点検	電気事業法第42条	○	1年	2014年12月	2015年12月	問題あり	L1-1幹線絶縁不良(改修済)	自家用電気工作物保安業務
10 機械換気設備の点検	人事院10-4第15条	○	2月	2015年5月	2015年7月	問題なし		庁舎総合管理保守業務
11 ボイラーの性能検査、定期点検	人事院10-4第32条	×				対象外		
12 浄化槽の水質検査、保守点検、清掃	浄化槽法第7~11条	×				対象外		

点検・確認項目

点検実施年月(最終、次回)

点検結果

作成例(修繕履歴) (保全台帳様式3)

修繕履歴

施設名称：【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)

保全台帳 様式3

番号	実施年月	件名	発注者	修繕内容	金額(円)	受注者
1	2015年 3月	エレベーター設備工事	国土交通省営繕部	【庁舎改修】、エレベーター(1基増設),(2014/9~2015/3)	39,000,000	▲▲建設工業
2	2012年 7月	給水管補修	管理省庁	【庁舎改修】、給水(屋外給水管改修),(2012/3~2012/7)	2,500,000	▲▲設備
3	2011年 9月	別館外壁改修工事	国土交通省営繕部	【別館改修】、外壁(全面),(2011/5~2011/9)	15,000,000	○組
4	2010年 10月	照明設備改修工事	管理省庁	【庁舎改修】、照明(事務室),(2010/4~2010/10)	4,000,000	●●電気
5	2009年 7月	OA床整備工事	管理省庁	【庁舎改修】、その他(OA床新設),(2009/1~2009/7)	8,000,000	■興業
6	2008年 11月	冷暖房設備設置工事	管理省庁	【庁舎改修】、空調(エアコン設置),(2008/5~2008/11)	1,200,000	△設備

修繕実施時期・件名

修繕内容

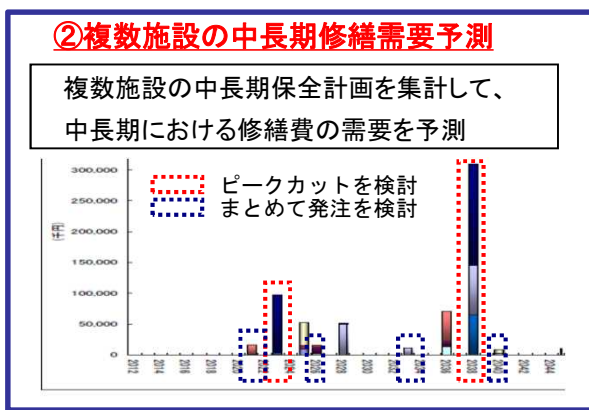
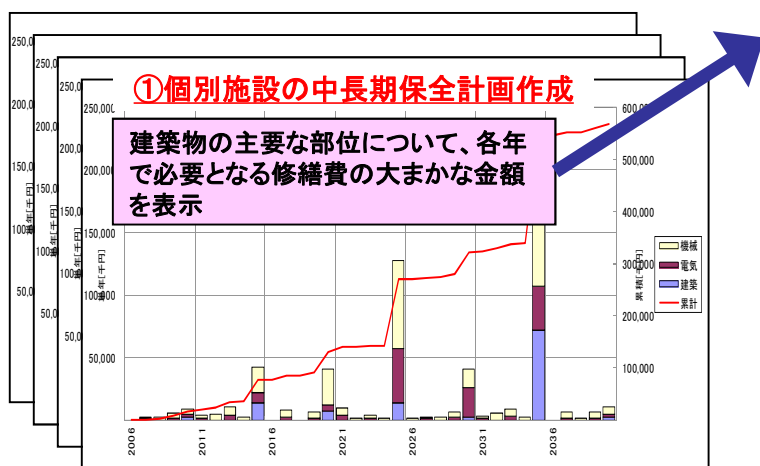
修繕金額

1. 3② 中長期保全計画

活用方法

- 個別の施設毎に、建築物の主要な部位別の修繕等を行う目安となる時期と大まかな金額を把握することができます。
- 複数施設の中長期保全計画を集計することができ、全体の支出平準化を図りつつ、効率的な修繕等の実施に役立ちます。

様式の取扱いについては以下のページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000002.html



③効率的な修繕等の実施
 分割して単年度予算の支出を平準化
 関連部位をまとめて発注して経費削減

作成例

BIMMS-N 中長期保全計画
 【3.LCC算出データ】

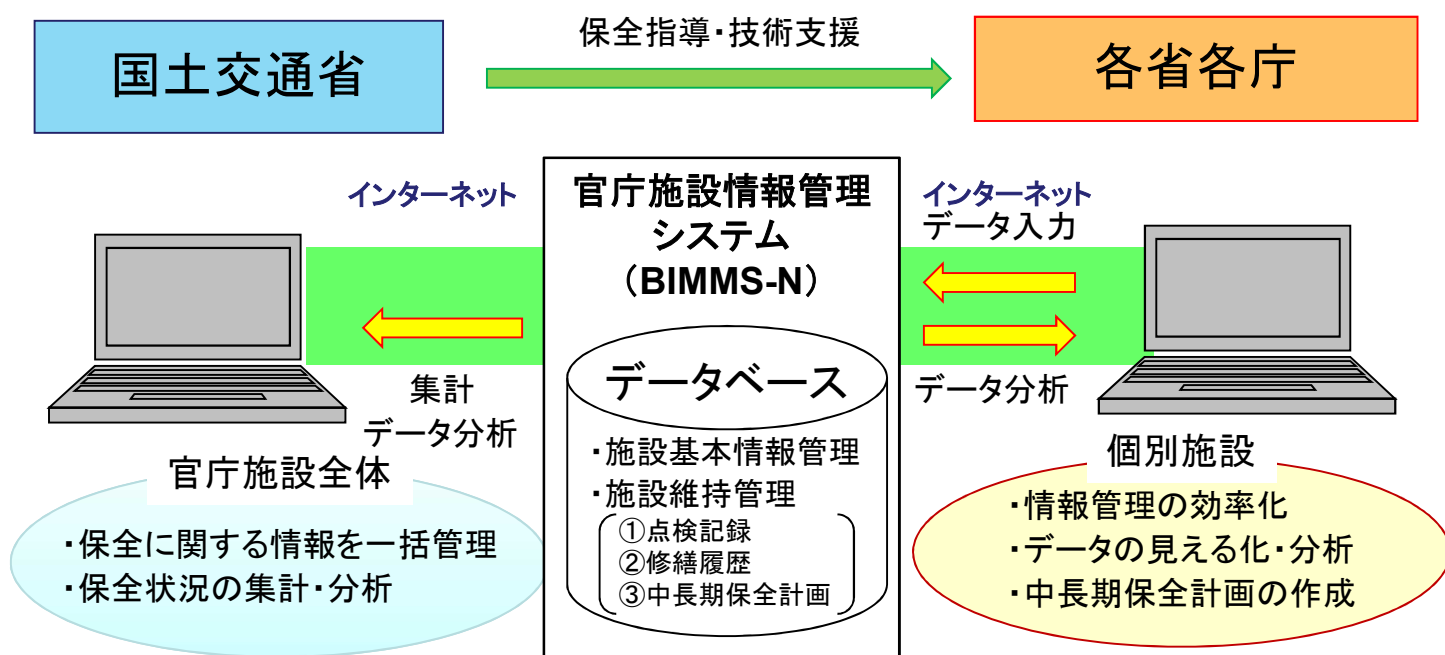
部位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	...	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	計 (千円)	
屋根	0	0	0	0	0	32,519	0	0	0	0		32,519	0	0	0	32,519	0	0	0	0	0	0	65,038
外壁	0	0	0	0	0	27,260	0	0	0	0		27,260	0	0	0	27,260	0	0	0	0	0	0	74,721
外部窓・外部建具	0	0	0	0	0	23,770	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,415	37,185
内部天井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	12,932	0	0	0	0	0	0	12,932
内部床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		14,786	0	0	0	14,786	0	0	0	0	0	0	14,786
内部壁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10,938	0	0	0	10,938	0	0	0	0	0	0	10,938
内部天井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,074
建築その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建築	0	0	0	0	0	93,646	0	0	0	0		330	0	0	0	330	0	0	0	0	0	0	230,395
受変電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		720	0	0	0	720	0	0	0	0	0	0	6,720
自家発・太陽光・直流電源	0	0	0	0	0	6,526	0	0	0	0		526	0	0	0	526	0	0	0	0	0	0	13,052
電灯・動力	0	33,537	0	0	0	13,188	0	0	0	0		188	0	0	0	188	0	0	0	0	0	0	102,509
通信・情報	0	0	0	0	0	15,165	0	0	0	0		165	0	0	0	165	0	0	0	0	0	0	30,330
屋外	0	0	0	0	0	169	0	0	0	0		169	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0	339
電気設備その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気設備	0	33,537	0	0	0	35,048	0	0	0	0		0	0	0	0	41,788	0	0	0	0	0	0	152,950
熱源機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		53,445	0	0	0	53,445	0	0	0	0	0	0	102,167
空調機	0	0	0	0	0	46,697	0	0	0	0		807	0	0	0	58,807	0	0	0	0	0	0	108,924
換気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5,755	0	0	0	5,755	0	0	0	0	0	0	16,435
排煙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,536
衛生器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6,334	0	0	0	6,334	0	0	0	0	0	0	6,334
給水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,052
給湯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1,972	0	0	1,972	0	0	0	0	0	0	0	3,944
排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		14,689	0	0	14,689	0	0	0	0	0	0	0	14,689
消火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昇降機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		11,526	0	0	11,526	0	0	0	0	0	0	0	11,526
機械設備その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械設備	3,026	0	0	0	0	46,697	0	0	0	0		0	0	0	0	152,529	0	0	0	0	0	0	278,607
全体	3,026	33,537	0	0	0	176,396	0	0	0	0		0	0	0	0	317,627	0	0	0	0	0	13,415	661,952
累積	3,026	36,563	36,563	36,563	36,563	211,958	211,958	211,958	211,958	211,958		330,908	330,909	330,909	330,909	648,537	648,537	648,537	648,537	648,537	648,537	661,962	

各年で必要となる修繕費の大まかな金額

建築物の各部位

1.4 官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の概要

- 官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)は、「保全実態調査」の報告事項を保全担当者等がインターネットを通して入力するシステムです。
- 施設維持管理機能として、①点検記録情報管理、②修繕履歴情報管理、③中長期保全計画作成があるため、個別施設計画を簡便に作成することが可能です。
- 上の3つの機能は、「保全実態調査」と独立した機能なので、いつでも個別施設計画の作成が可能です。
- 「中長期保全計画」の過去のデータはBIMMS-Nに保存されないため、作成・見直しの都度、Excelデータとして出力し、所定のフォルダに保存してください。



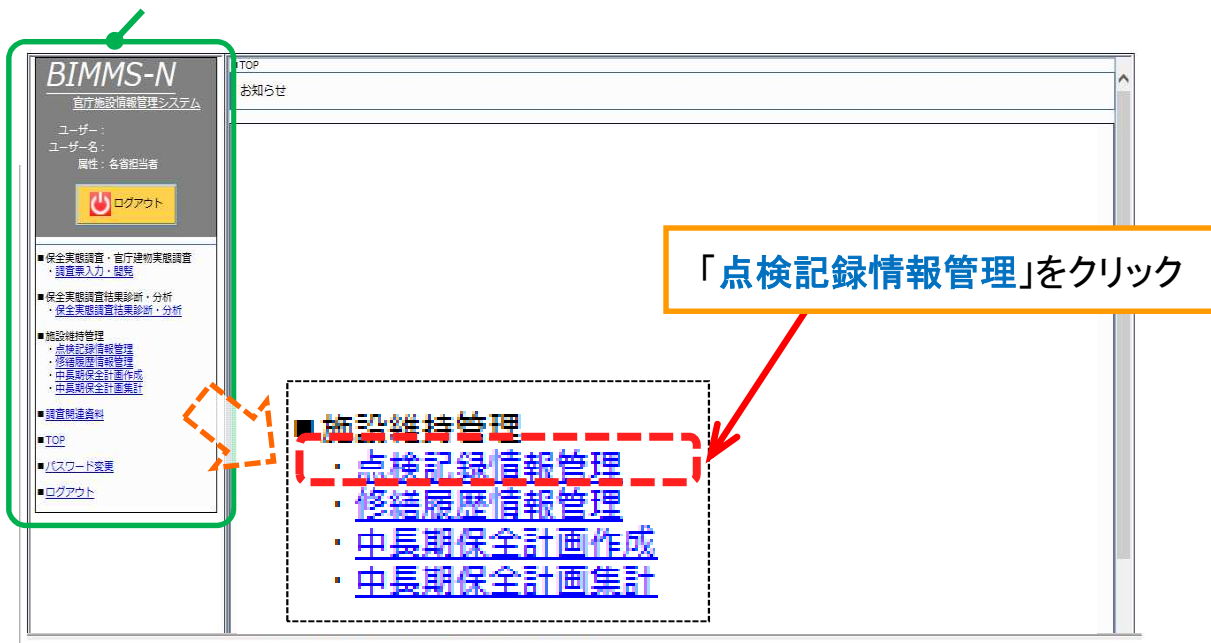


第2 保全台帳の作成

2.1 点検記録情報の管理

- BIMMS-Nの画面左側のグローバルナビゲーションから、「点検記録情報管理」をクリックします。
- 施設検索画面が表示されたら、「検索」をクリックします。（検索条件の入力は不要です。）

グローバルナビゲーション



2.1 点検記録情報の管理

- 施設一覧が表示されたら、点検記録の入力を行う施設の「点検記録」をクリックします。
- 施設の点検記録情報が表示されたら、入力を行う点検・確認項目の「履歴」をクリックします。

施設一覧

施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署 (約庁名)	実地指導担当官職等	点検記録	修繕履歴	中長期保全計画作成
[講習会用] (国文大研修) 庁舎 (1班)				801.本省官庁官庁事務官職	点検記録	修繕履歴	保全計画

施設一覧から、点検記録の入力を行う施設の「点検記録」をクリック

点検記録情報

No	点検・確認項目	目標法令	履歴
1	建築物の敷地及び構造の点検	建築法第12条 官公法第12条	履歴
2	昇降機の点検	建築法第12条 人車法10-4第33条	履歴
3	建築物の昇降機以外の建築設備の点検	建築法第12条 官公法第12条	履歴
4	支障がない状態の確認	国文省告示	履歴
5	消防用設備等の点検	消防法第47条	履歴
6	危険物を取り扱う施設等の点検		
7	事関用電気工作物の保安規定による自主点検		
8	機械換気設備の点検		
9	ボイラーの性能検査、定期点検		
10	浄化槽の水質検査、保守点検、清掃	浄化槽法第7～11条	履歴
11	警報専用水道の水栓の清掃、検査	水道法第34条	履歴
12	排水設備の清掃	建築物衛生法第4条	履歴
13	清掃等及びねずみ等の防除	建築物衛生法第4条 人車法10-4第15条	履歴
14	空気環境の測定	建築物衛生法第4条 人車法10-4第15条	履歴
15	冷却塔、加湿装置等の清掃等	建築物衛生法第4条 人車法10-4第15条	履歴
16	給水設備の飲料水、雑用水の遊離残留塩素等の検査	建築物衛生法第4条	履歴

入力を行う点検・確認項目の「履歴」をクリック

2.1 点検記録情報の管理

- 「点検記録を追加」をクリックします。
- 点検記録情報を入力します。点検周期は、「国家機関の建築物等の保全の現況」にある「法令等により定められた点検等の整理表」等を参考に入力してください。
- 入力完了したら、「変更を保存」をクリックします。

BIMMS-N
官庁施設情報管理システム

ユーザー:
ユーザー名:
属性: 各管理担当者

ログアウト

■ 保全実施調査・官庁建物異動調査
・調査票入力・閲覧

■ 保全実施調査結果診断・分析
・保全実施調査結果診断・分析

■ 施設維持管理
・点検記録情報管理
・点検記録情報管理
・中長期保全計画作成
・中長期保全計画集計

■ 調査関連資料

■ TOP

■ パスワード変更

■ ログアウト

施設維持管理 >> 施設選択 (施設維持管理) >> 点検記録情報管理 >> 点検記録情報内訳

点検記録内訳情報管理

点検・確認項目: 建築物の敷地及び構造の点検

戻る 点検記録を追加

No	対象の有無 (有:○、無:x)	点検周期	最終点検 実施年月	次回点検 実施年月	実施結果
該当するデータがありませんでした。					

戻る 点検記録を追加

「点検記録を追加」をクリック

BIMMS-N
官庁施設情報管理システム

ユーザー:
ユーザー名:
属性: 各管理担当者

ログアウト

■ 保全実施調査・官庁建物異動調査
・調査票入力・閲覧

■ 保全実施調査結果診断・分析
・保全実施調査結果診断・分析

■ 施設維持管理
・点検記録情報管理
・点検記録情報管理
・中長期保全計画作成
・中長期保全計画集計

■ 調査関連資料

■ TOP

■ パスワード変更

■ ログアウト

施設維持管理 >> 施設選択 (施設維持管理) >> 点検記録情報管理 >> 点検記録情報内訳

点検記録内訳情報管理

点検・確認項目: 建築物の敷地及び構造の点検

①

対象の有無	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
点検周期	点検周期 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> ヶ月
最終点検 実施年月	西暦 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
次回点検 実施年月	
実施結果	<input type="radio"/> 状態あり <input type="radio"/> 状態なし
問題の内容	
備考	

戻る 変更を保存

②

「変更を保存」をクリック

2.1 点検記録情報の管理

- 施設の点検記録情報にある「ダウンロード」をクリックします。
- 点検記録情報一覧表(Excelファイル)が出力されますので、所定のフォルダにファイルを保存してください。

■施設維持管理 >> 施設選択 (施設維持管理) >> 点検記録情報管理

・施設名称: 【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)

・点検記録情報

戻る ダウンロード

No	点検・確認項目	関係法令	履歴
1	建築物の敷地及び構造の点検	建築法第12条 官公法第12条	履歴
2	昇降機の点検	建築法第12条 人事院10-4第32条	履歴
3	建築物の昇降機以外の建築設備の点検	建築法第12条 官公法第12条	履歴
4		国土省告示	履歴
5		消防法第17条	履歴
6	危険物を取り扱う一般取扱所等の点検	消防法第14条	履歴
7	事業用電気工作物の保安規定による自主点検	電気事業法第42条	履歴
8	機械換気設備の点検	人事院10-4第15条	履歴
9	ボイラーの性能検査、定期点検	人事院10-4第32条	履歴
10	浄化槽の水質検査、保守点検、清掃	浄化槽法第7~11条	履歴
11	監視専用水道の水質の清掃、検査	水道法第34条	履歴
12	排水設備の清掃	建築物衛生法第4条	履歴
13	清掃等及びねずみ等の防除	建築物衛生法第4条 人事院10-4第15条	履歴
14	空気環境の測定	建築物衛生法第4条 人事院10-4第15条	履歴
15	冷却塔、加湿装置等の清掃等	建築物衛生法第4条 人事院10-4第15条	履歴
16	給水設備の飲料水、雑用水の遊離残留塩素等の検査	建築物衛生法第4条	履歴



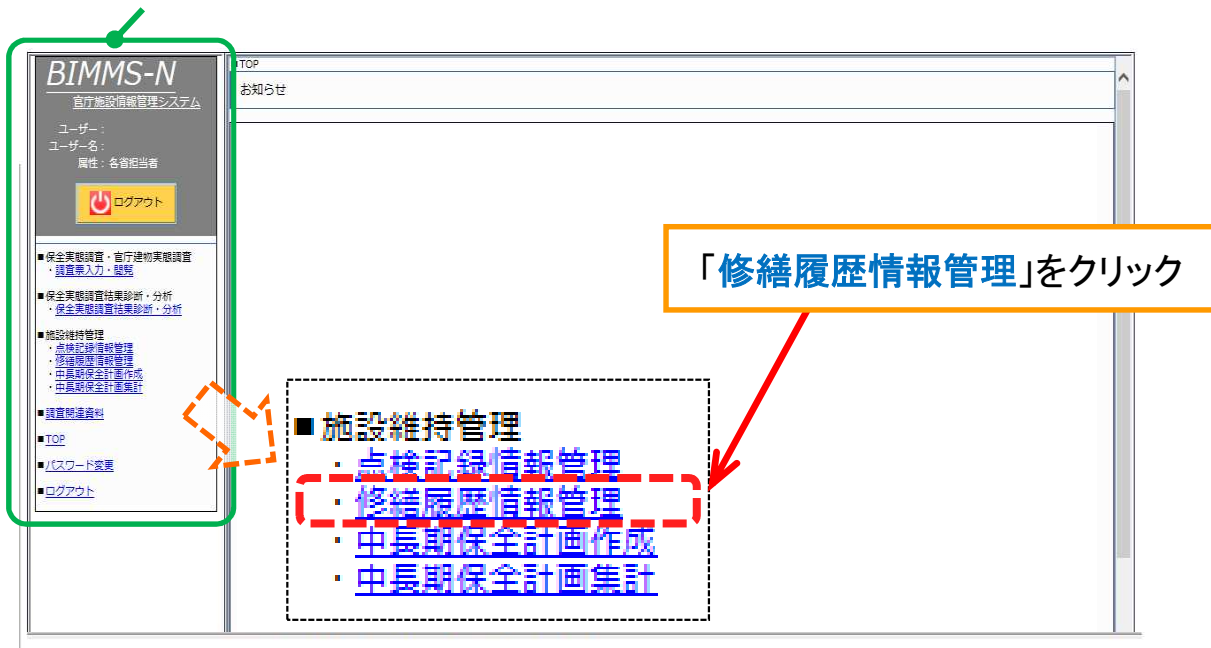
各項目の全ての履歴を出力

点検及び確認記録		施設名称: 【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)					保安台帳 様式2		
No	点検・確認項目	関係法令	対象の有無 (有:○、無:×)	点検周期	最終点検 実施年月	次回点検 実施年月	実施結果	問題の内容	備考
1	建築物の敷地及び構造の点検	建築法第12条 官公法第12条	○	3年	2013年7月	2016年7月	問題なし		
2	建築物の敷地及び構造の点検	建築法第12条 官公法第12条	○	10年	2013年7月	2023年7月	問題なし		外壁タイル点検(全面打診調査)
3	昇降機の点検	建築法第12条 人事院10-4第32条	○	1月	2015年7月	2015年8月	問題なし		昇降機保守点検業務
4	昇降機の点検	建築法第12条 人事院10-4第32条	○	1年	2014年10月	2015年10月	問題なし		
5	建築物の昇降機以外の建築設備の点検	建築法第12条 官公法第12条	○	1年	2014年11月	2015年11月	問題なし		
6	支障がない状態の確認	国土省告示	○	6月	2015年2月	2015年8月	問題なし		自動扉については3ヶ月毎
7	消防用設備等の点検	消防法第17条	○	6月	2015年6月	2015年12月	問題なし		消防設備保守点検業務
8	危険物を取り扱う一般取扱所等の点検	消防法第14条	×				対象外		
9	事業用電気工作物の保安規定による自主点検	電気事業法第42条	○	1年	2014年12月	2015年12月	問題あり	L1-1幹線絶縁不良(改修済)	自家用電気工作物保安業務
10	機械換気設備の点検	人事院10-4第15条	○	2月	2015年5月	2015年7月	問題なし		庁舎総合管理保守業務
11	ボイラーの性能検査、定期点検	人事院10-4第32条	×				対象外		
12	浄化槽の水質検査、保守点検、清掃	浄化槽法第7~11条	×				対象外		

2.2 修繕履歴情報の管理

- BIMMS-Nの画面左側のグローバルナビゲーションから、「修繕履歴情報管理」をクリックします。
- 施設検索画面が表示されたら、「検索」をクリックします。(検索条件の入力は不要です。)

グローバルナビゲーション



2.2 修繕履歴情報の管理

- 施設一覧が表示されたら、修繕履歴の入力を行う施設の「修繕履歴」をクリックします。
- 施設の修繕履歴情報一覧が表示されたら、「修繕履歴を追加」をクリックします。

施設一覧

施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署 (庁庁名)	実地指導担当官事務所等	点検記録情報管理	修繕履歴情報管理	中長期保全計画作成
	【講習会用】(国文大研修)庁舎(1班)			801.本省官庁官庁部直轄	点検記録	修繕履歴	保全計画

施設一覧から、修繕履歴の入力を行う施設の「修繕履歴」をクリック

修繕履歴を追加

番号	実施年月	件名	発注者	修繕内容	金額 (円)	受注者
該当するデータがありません。						

「修繕履歴を追加」をクリック

2.2 修繕履歴情報の管理

- 修繕履歴情報を入力します。修繕内容は、画面下の入力例やグローバルナビゲーションの「調査関連資料」にある「入力マニュアル(修繕履歴情報管理編)」を参照し入力してください。
- 入力が完了したら、「変更を保存」をクリックします。

グローバルナビゲーション

修繕履歴情報を入力

「変更を保存」をクリック

入力マニュアルを参照する場合は「調査関連資料」をクリック

入力項目

- ①「実施年月」
 - ・工事(役務)の完了年月(西暦)
- ②「件名」
 - ・工事単位。契約上の発注件名
- ③「発注者」
 - ・国交省営繕部,管理庁,入居庁の別
- ④「修繕内容」
 - ・主要な部位・設備
- ⑤「金額」
 - ・最終請負金額(税込)
- ⑥「受注者」
 - ・工事(役務)受注者名

※文字入力
100字制限
有り

「④修繕内容」の記入例

必要最小限。主要な部位・設備
が対象か否かがわかるよう記載

記入ルール

【対象建物名+改修(新築、増築)】+主要部
位・設備名(改修内容)+(工期)の順に記載

『記載例』:

【庁舎改修】,屋上防水(全面)、照明(事務室)、
空調(ボイラー更新)、給水(受水槽更新)、その
他(天井改修),(2010/07~2011/06)

詳しくは「調査関連資料」にある「入力マニュアル
(修繕履歴情報管理編)」を参照してください

2.2 修繕履歴情報の管理

- 施設の修繕履歴情報一覧にある「ダウンロード」をクリックします。
- 修繕履歴一覧表(Excelファイル)が出力されますので、所定のフォルダにファイルを保存してください。

BIMMS-N
施設修繕履歴管理システム

施設名称: 【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)
修繕履歴情報一覧

戻る 修繕履歴を追加 **ダウンロード**

番号	実施年月	件名	発注者	修繕内容	金額(円)	受注者
1	2015年 3月	エレベーター設備工事	国土交通省営繕部	【庁舎改修】エレベーター(1基増設),(2014/9~2015/3)	39,000,000	▲▲建設工業
2	2012年 7月	給水管補修	管理省庁	【庁舎改修】給水(屋外給水管改修),(2012/3~2012/7)	2,500,000	▲▲設備
3	2011年 9月	別館外壁改修工事	国土交通省営繕部	【別館改修】外壁(全面),(2011/5~2011/9)	15,000,000	○○組
4	2010年 10月	照明設備改修工事	管理省庁	【庁舎改修】照明(事務室),(2010/4~2010/10)	4,000,000	●●電気
5	2009年 7月	OA床整備工事	管理省庁	【庁舎改修】その他(OA床新設),(2009/1~2009/7)	8,000,000	■興業
6	2008年 11月	冷暖房設備設置工事	管理省庁	【庁舎改修】空調(エアコン設置),(2008/5~2008/11)	1,200,000	△△設備



過去の全ての履歴を出力

施設名称: 【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班) 保全台帳 様式3

修繕履歴

番号	実施年月	件名	発注者	修繕内容	金額(円)	受注者
1	2015年 3月	エレベーター設備工事	国土交通省営繕部	【庁舎改修】エレベーター(1基増設),(2014/9~2015/3)	39,000,000	▲▲建設工業
2	2012年 7月	給水管補修	管理省庁	【庁舎改修】給水(屋外給水管改修),(2012/3~2012/7)	2,500,000	▲▲設備
3	2011年 9月	別館外壁改修工事	国土交通省営繕部	【別館改修】外壁(全面),(2011/5~2011/9)	15,000,000	○○組
4	2010年 10月	照明設備改修工事	管理省庁	【庁舎改修】照明(事務室),(2010/4~2010/10)	4,000,000	●●電気
5	2009年 7月	OA床整備工事	管理省庁	【庁舎改修】その他(OA床新設),(2009/1~2009/7)	8,000,000	■興業
6	2008年 11月	冷暖房設備設置工事	管理省庁	【庁舎改修】空調(エアコン設置),(2008/5~2008/11)	1,200,000	△△設備

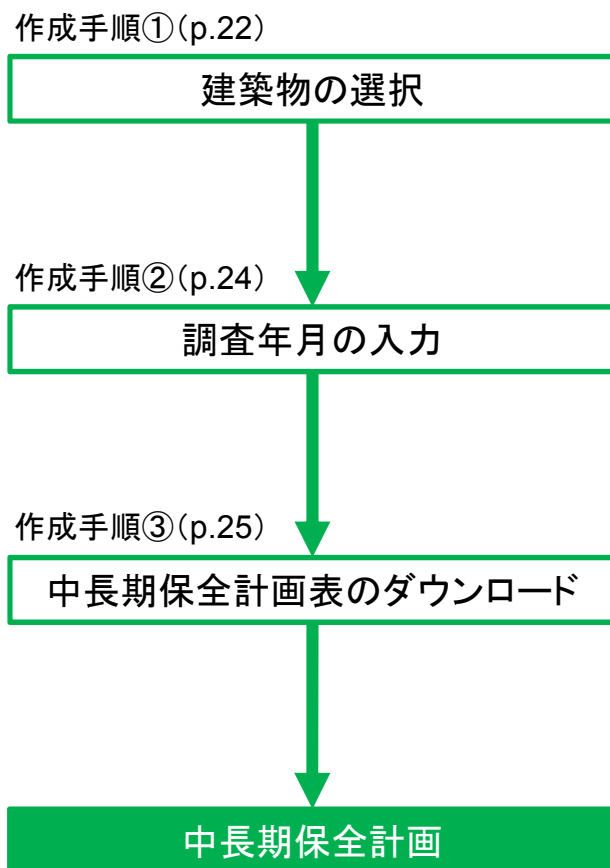


第3 中長期保全計画の作成

3.1 中長期保全計画の作成

- BIMMS-Nでは、あらかじめ事務庁舎(延べ面積3,000m²程度)の標準的な仕様、数量、単価等が入力されており、特別な仕様を入力することなく、中長期保全計画を作成することができます。
- さらに、実際に管理している建築物の用途・特性を踏まえた仕様の入力や各部位の更新履歴等の入力により、精度の高い計画に見直すことができます。詳細は26ページ以降の「3.2 中長期保全計画の見直し」を参照してください。
- BIMMS-Nでは、「平成17年版 建築物のライフサイクルコスト」(発行:(一財)建築保全センター)に掲載されている標準的な単価を採用しています。実際に予算要求等を行う場合は、実勢価格により算出してください。

作成フロー

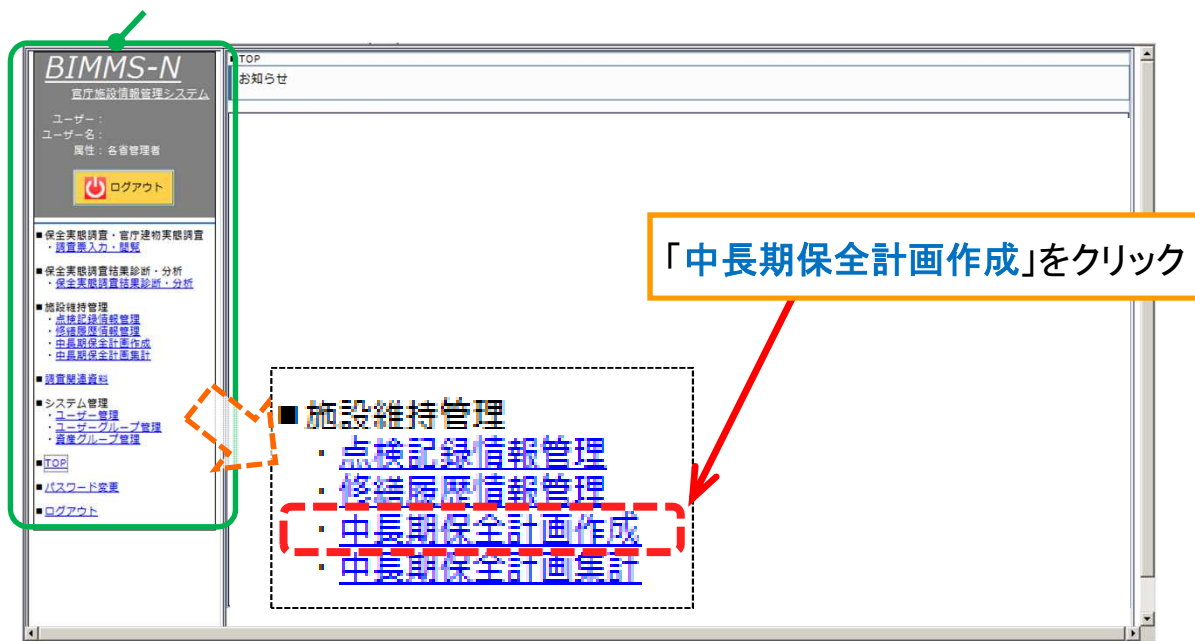


3.1 中長期保全計画の作成

手順① 建築物の選択

- BIMMS-Nの画面左側のグローバルナビゲーションから、「中長期保全計画作成」をクリックします。
- 施設検索画面が表示されたら、「検索」をクリックします。(検索条件の入力は不要です。)

グローバルナビゲーション



3.1 中長期保全計画の作成

手順① 建築物の選択

- 施設一覧が表示されたら、中長期保全計画を作成する施設の「保全計画」をクリックします。
- 建築物が複数棟ある場合は、それぞれの中長期保全計画を集計することができます。(集計方法は37ページ以降の「3.3 中長期保全計画の集計」を参照してください。)
- 中長期保全計画を作成する建築物の「選択」をクリックします。

施設一覧

施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署(自行名)	実地指導担当官(事務所等)	点検記録情報管理	修繕履歴情報管理	中長期保全計画
	【講習会用】(国文大研修)庁舎(1班)			801.本省官庁官備部道廳	点検記録	修繕履歴	保全計画

施設一覧から、中長期保全計画作成を行う
施設の「**保全計画**」をクリック

建築物選択

主要建築物情報	建物番号	名称	竣工年月	選択
	22	研修員番号22 庁舎	1980年1月	選択
	25	研修員番号25 庁舎	1980年1月	選択
○	40	研修員番号40 庁舎	1980年1月	選択
	42	研修員番号42 庁舎	1980年1月	選択
	51	研修員番号51 庁舎	1980年1月	選択

建築物一覧から、中長期保全計画作成を行う
建築物の「**選択**」をクリック

3.1 中長期保全計画の作成

手順② 調査年月の入力

- 中長期保全計画作成の【手順】画面が表示されます。画面上部の施設名称及び建築物名称に間違いがないか確認します。
- 【基本情報】タブをクリックします。
- 【基本情報】画面が表示されたら、調査年月を入力します。(必須入力)
- 入力完了したら、「変更を保存」をクリックします。
- 保存完了したら、【部材・機器仕様情報】タブをクリックします。

施設名称及び建築物名称を確認

①

【手順】画面

②

「基本情報」タブをクリックし、「基本情報」画面へ。

Step1 建物の基本情報を確認する (「基本情報」タブ) **必須**
 「調査年月 (計画決定年月)」を入力してください。「基本情報」タブには、調査票で入力した施設や建築物情報を記載していますので、確認してください。また、建築面積が分かる場合は「建築面積 (㎡)」(ユーザー入力欄) *に入力してください。

Step2 建物仕様を設定する (「部材・機器仕様情報」タブ) **推奨**
 「部材・機器仕様情報」タブには、初期設定として3,000㎡程度の事務所の仕様を表示しています。実際の建物の仕様に合わせて変更してください。

初期設定のままでは中長期保全計画を作成する	「ダウンロード」ボタン
初期設定と異なる仕様を設定する	「部材・機器仕様情報」タブの「初期設定」から選択 ⇒「ダウンロード」ボタン
「仕様選択欄」以外の仕様を設定する	「部材・機器仕様情報」タブの「初期設定」から選択 ⇒「追加設定情報」の「詳細」ボタンから仕様を設定

「部材・機器仕様情報」タブをクリックし、「部材・機器仕様情報」画面へ。

【基本情報】画面

①

調査年月を入力 (必須入力)

②

「変更を保存」をクリック

調査年月 (計画決定年月)	西暦 2015 年 7 月
施設名称	【講習会用】(国交大研修)庁舎 (1期)
建築物名称	研修員番号51 庁舎
構造	RC (鉄筋コンクリート造)
階数(地下)	階
階数(地上)	5階
建築面積(㎡) (延べ面積 (㎡) / 階数、デフォルト値)	1,220.00㎡
建築面積(㎡) (ユーザー入力欄)	1,225.00㎡
延べ面積(㎡)	6,100.00㎡
経過年数	35年

3.1 中長期保全計画の作成

手順③ 中長期保全計画表のダウンロード

- 【部材・機器仕様情報】画面が表示されたら、画面右の「ダウンロード」をクリックします。
- ダウンロードしたデータが中長期保全計画となりますので、任意のフォルダを作成し、データを保存してください。

【部材・機器仕様情報】画面

部位	仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
屋根	3.シート防水	シート防水	
外壁	2.1		
外壁	2.2		
外壁窓、外部遮熱	3.2		
外壁窓、外部遮熱	2.1		
内部遮熱	2.遮り	遮熱断熱シート (900×2,000×120)	
内部床	2.2-1*付録	引掛*付録(引掛*下地)	
内部壁	2.加積り(壁紙)	ビニル*積り(GI工法:GB.t=12.5+12.5)	
内部天井	2.4-1*積 (化粧石膏*1*)	化粧石膏ボード貼	
建築 その他1	-	-	

出力

中長期保全計画表
(Excelファイル)

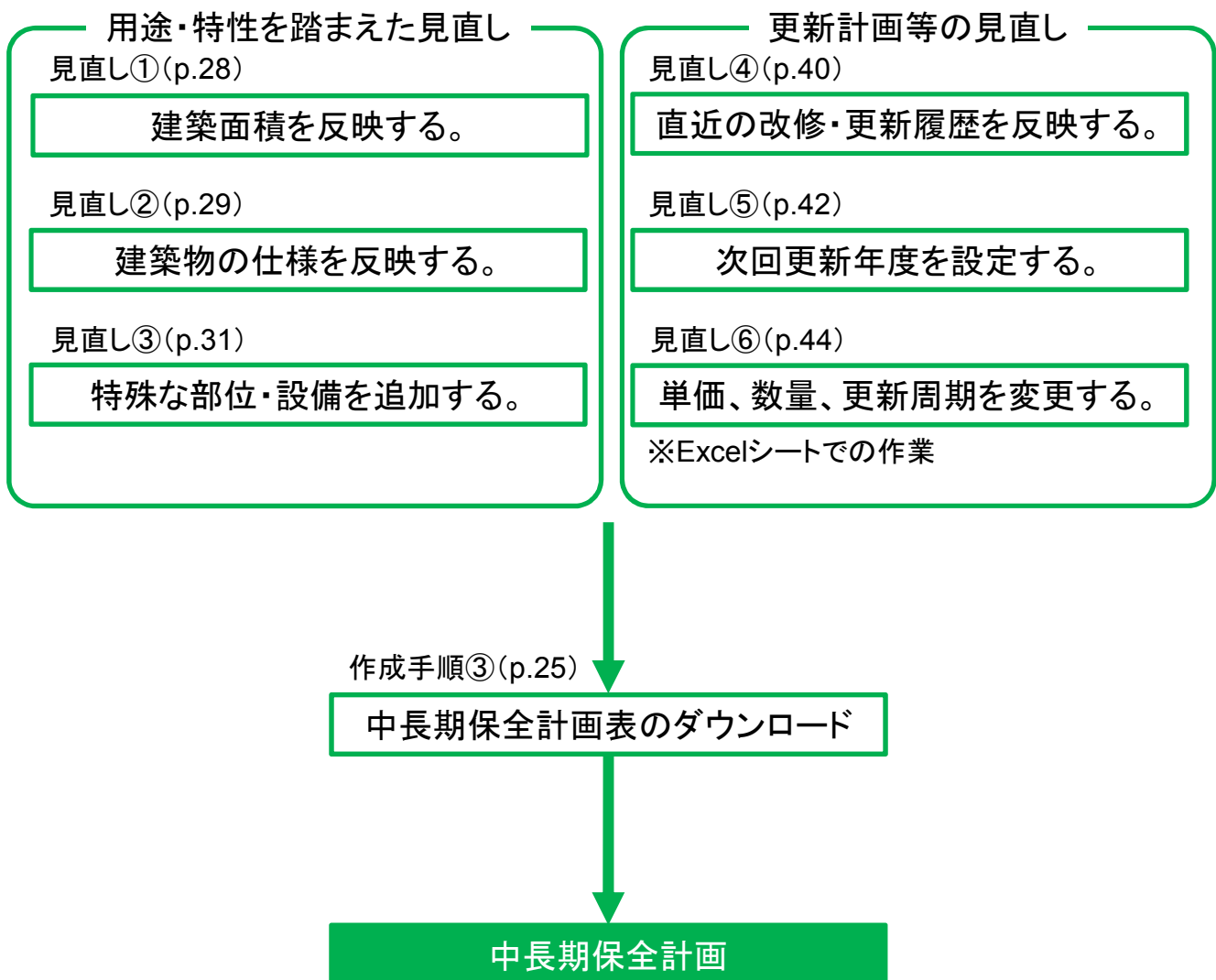
シート構成

- 0_凡例(シート構成)
- 1-1_入力シート
- 1-2_入力シート
- 1-3_入力シート
- 2_入力チェックシート
- 3_LCC算出データ
- 4_LCC算出グラフ
- 5_入力仕様情報

3.2 中長期保全計画の見直し

- 事務庁舎の標準的な仕様を、実際に管理している建築物の用途・特性を踏まえた仕様等に置き換えることで、中長期保全計画の精度を向上することができます。
- 項目に順序はありませんので、対応可能な項目から選択してください。（入力する情報が多いほど、より精度の高い計画となります。）
- 入力作業が完了したら、中長期保全計画をダウンロードし、データを所定のフォルダに保存してください。

見直しフロー



3.2 中長期保全計画の見直し

- BIMMS-NIにあらかじめ入力されている仕様は事務庁舎の仕様であるため、施設用途が事務庁舎以外の建築物においては、作成した中長期保全計画と実態が大きく乖離している可能性があります。
- このため、実際の建築物の仕様を反映する際は、下表を優先して対応してください。

優先して見直しが必要な部位・設備

施設用途	優先して見直しが必要な部位・機器	参考例
宿舎	○建築(内壁塗装等入居者負担) ○電気設備(動力、自家発等無し) ○機械設備(空調、熱源等無し)	p.32
倉庫、車庫	○建築(外部窓・外部建具) ○電気設備(電灯・動力) ○機械設備(換気機器)	p.33

留意点

- 宿舎における受変電や受水槽など入居者への影響が極めて大きい設備等の有無を確認し、適切に見直しをしてください。
- 災害対応を行う車庫・倉庫についても、自家発の有無等、災害対応に大きな影響のある設備等の有無を確認し、適切に見直しをしてください。

3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し① 建築面積を反映する

- 【基本情報】タブをクリックします。
- 【基本情報】画面が表示されたら、建築面積のユーザー入力欄に、実際の建築面積を直接入力します。(デフォルト値は(延べ面積/地上階数)で自動計算)
- 入力が完了したら、「変更を保存」をクリックします。

【基本情報】画面

変更を保存

2

「変更を保存」をクリック

1

実際の建築面積を直接入力

建築物基本情報	
種別	51
建築物名称	研修員番号51 庁舎
構造	RC (鉄筋コンクリート造)
階数(地下)	階
階数(地上)	5階
建築面積(m ²) (延べ面積(面積)/階数、デフォルト値)	1,225.00
建築面積(面積 m ²) (ユーザー入力値)	1,225.00
延べ面積(面積 m ²)	6,125.00
経過年数	35年

3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し② 実際の建築物の仕様を反映する

- 【部材・機器仕様情報】タブをクリックします。
- 【部材・機器仕様情報】画面が表示されたら、「仕様選択欄」のプルダウンメニューで該当する仕様を選択します。
- 電気設備・機械設備の仕様を選択・入力する場合は、画面右側にあるスクロールバーで画面下方に移動してください。

The screenshot shows the 'BIMMS-N' software interface. The main window is titled '建築' (Building) and contains a table of equipment specifications. The table has columns for '部位' (Part), '仕様' (Specification), '仕様選択欄' (Specification Selection Column), '部材・機器仕様' (Material/Equipment Specification), and '追加設定情報' (Additional Setting Information). The '仕様選択欄' column contains dropdown menus for various specifications. A red box highlights one of these dropdown menus, with an arrow labeled '1' pointing to it. Another red box highlights the scrollbar on the right side of the table, with an arrow labeled '2' pointing to it. An orange box contains the text: 'スクロールして電気設備・機械設備(下の画面)へ' (Scroll to Electrical Equipment/Mechanical Equipment (next screen)). Below the screenshot, a text box says: '建築物の仕様をプルダウンで選択し変更' (Select and change building specifications using a dropdown).

部位	仕様	仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
屋根	屋根	3.シート防水	シート防水	
外壁	外壁	2.珪藻土付	珪藻土付仕上げ塗材E種	
外壁窓・外部窓	外壁窓	3.遮音	遮音引窓 (1,700×1,500×)	
外部窓	外部窓	2.2PVC樹脂造具	2PVC樹脂窓 (900×2,000×)	
内部窓	内部窓	2.遮音	遮音引窓 (900×2,000×)	
内部扉	内部扉	2.2PVC付	(鉛入り) 扉 (2PVC付)	
内部扉	内部扉	2.加断り (遮音)	加断り扉 (GL工法: GB, t=12.5+12.5)	
内部天井	内部天井	2.シート張 (化粧石膏付)	化粧石膏ボード貼	
建具	その他1			

3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し② 実際の建築物の仕様を反映する

- 修正が完了したら、「変更を保存」をクリックします。

【部材・機器仕様情報】画面

電気設備

建築物の仕様をプルダウンで選択し変更 ①

スクロールして機械設備(下の画面)へ ②

【部材・機器仕様情報】画面

機械設備

「変更を保存」をクリック ②

建築物の仕様をプルダウンで選択し変更 ①

3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し③ 特殊な部位・設備を追加する

- 【部材・機器仕様情報】タブをクリックします。
- 【部材・機器仕様情報】画面が表示されたら、該当する部位の「仕様選択欄」で「8. その他」を選択します。
- 追加設定情報の「詳細」をクリックして、「部材・機器仕様」、「単価」、「数量」、「単位」、「更新周期」を入力します。
- 部位を新たに追加する場合も、追加設定情報の「詳細」をクリックして入力します。
- 入力が完了したら「変更を保存」をクリックします。

【部材・機器仕様情報】画面

変更を保存

③

仕様選択欄で「8. その他」を選択

①

「変更を保存」をクリック

追加設定情報

②

追加設定情報の「詳細」ボタンをクリックできるようになり、
任意の仕様を入力することが可能

追加設定情報

部位	部材・機器仕様	単価	数量	単位	更新周期
屋根	屋根 その他				

保存 閉じる

(参考)中長期保全計画の見直し(宿舎)

- 宿舎において実際の仕様を反映する際の留意点は、以下のとおりです。
 - ベランダ防水・ユニットバスのように宿舎特有の部位や入居者負担の部位があり、設置されている設備等が(BIMMS-Nの前提となっている)庁舎と異なります。
 - BIMMS-Nにあらかじめ入力されている仕様と大きな差異が生じやすい主な部位・設備については下表が考えられ、これらを見直すことにより、効率的に中長期保全計画の精度を向上することができます。

大きな差異が生じやすい主な部位・設備

	宿舎には通常無い設備	宿舎特有の部位・設備	入居者負担の部位
建 築		ベランダ防水、ユニットバス、洗面ユニット、台所流し台	内部壁塗装
電気設備	自家発電、動力、時計、拡声、音響、出退表示、機械警備		
機械設備	熱源機器、空調機、排煙、消火	ガス設備	

見直し方法

見直し方法	【部位・機器仕様情報】 「仕様選択欄」において	【部位・機器仕様情報】 「仕様選択欄」において	【部位・機器仕様情報】 「仕様選択欄」において
	<u>「1. なし」を選択</u>	<u>「8. その他」を選択し、入力</u> (p.31参照)	<u>「1. なし」を選択</u>

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

- 倉庫、車庫において実際の仕様を反映する際の入力例及び留意点は下図のとおりです。
- BIMMS-Nにあらかじめ入力されている仕様と差異が生じやすい部位として、主に次の部位が考えられるため、これらを見直すことにより、効率的に中長期保全計画の精度を向上することができます。
 - 建築(外部窓・外部建具):外部建具における「シャッター」又は「オーバースライダー」の有無
 - 電気設備(電灯・動力) :分電盤の仕様
 - 機械設備(換気機器) :換気機器の仕様

入力例

The screenshot shows the BIMMS-N system interface. The left sidebar contains navigation links such as 'BIMMS-N 官庁施設情報管理システム', 'ログアウト', and various management options. The main content area is divided into tabs: '手順', '基本情報', '部材・機器仕様情報', '更新履歴情報', and 'インポート'. The '基本情報' tab is active, showing a '調査年月' dropdown set to '西暦 2015 年 8月'. Below this, the '施設基本情報' section includes fields for '施設名称', '都道府県', '市区町村', and '建築年月'. The '建築物基本情報' section is highlighted with a red box and contains the following data:

項目	値
棟番号	002
建築物名称	倉庫棟
構造	S (鉄骨造、軽量鉄骨造)
階数(地下)	0階
階数(地上)	1階
建築面積(m ²) (延べ面積(国財)/階数、デフォルト値)	173.02m ²
建築面積(国財 m ²) (ユーザー入力値)	<input type="text"/> m ²
延べ面積(国財 m ²)	173.02m ²
経過年数	<input type="text"/> 2年

A red arrow points from the '経過年数' field to the '建築面積(国財 m²)' field, indicating the input example.

入力例は鉄骨造平屋建

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

建築(1/2)

実地又は図面等により、不明な場合は以下のように選択
 鉄骨造の場合:「1.金属板」
 鉄筋コンクリート造の場合:「7.アスファルト防水押えコンクリート」

実地又は図面等により不明な場合は「3.複層仕上げ塗材」を選択

差異が生じやすい部位→

部位	仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
屋根	① 1.金属板	金属	詳細
外壁	② 5.バネ張	バネ張(押出成形メルト板アクリル板50t)	詳細
外部窓	③ 1.なし	-	-
建具	④ 1.鋼製建具	鋼製片開扉SOP(900×2,000×120)	詳細
内部建具	⑤ 1.なし	-	-
内部床	⑦ 7.その他	その他()	詳細
内部壁	⑥ 6.その他	その他()	詳細
内部天井	⑧ 7.その他	その他()	詳細
建築 その他 1	-	-	詳細
建築 その他 2	-	-	詳細
建築 その他 3	-	-	詳細

仕上げがない場合は「7(又は6).その他」を選択

外部窓がない場合:「1.なし」
 がある場合は「2.単窓(ポツ窓)」を選択

実地又は図面等により不明な場合は「1.鋼製建具」を選択
 実情にあわせて変更する場合及び、重量電動シャッター、オーバースライダー等の建具が複数箇所ある場合は次頁の④-1及び④-2を参照

実地又は図面等により不明な場合は「1.なし」を選択

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

建築(2/2):外部建具の入力例

シャッター等がある場合は「3.その他」を選択

次に【詳細】をクリックして追加設定情報画面を表示

差異が生じやすい部位→

部位	仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
屋根	1.金属板	金属	詳細
外壁	3.複層仕上げ塗材	複層仕上げ塗材(コンクリート下地複層塗材CE)	詳細
外部窓	1.なし	-	詳細
外部建具	3.その他	その他()	④-1 詳細
内部建具	1.なし	-	詳細
内部床	7.その他	その他()	詳細
内部壁	6.その他	その他()	詳細
内部天井	7.その他	その他()	詳細
建築 その他1	-	-	詳細

部位	部材・機器仕様	単価	数量	単位	更新周期
外部窓・外部建具	外部建具 その他	926,000	3	箇所	30

④-2

- 別画面の「追加設定情報」へ諸元を入力
- ・部材・機器仕様に名称を入力
 - ・単価は実情に応じて入力
 - ・数量は、シャッター等の総箇所数
 - ・単位は「箇所」
 - ・更新周期は「30年」

(入力の参考まで)
シャッターの単価は、「平成17年版建築物のライフサイクルコスト」では、一箇所あたり「926,000円」程度で記載されています。

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

電気設備(1/2)

電気室がない場合は「1. なし」を選択

実地又は図面等により、不明な場合は「1. なし」を選択


実地又は図面等により、不明な場合は、「2. あり」を選択
ただし、「倉庫」及び「車庫」に初期設定値を使用すると高コストとなる傾向がある
実情にあわせて変更する場合は次頁の⑨-1及び⑨-2を参照

実地又は図面等により、不明な場合は「2. あり」を選択

実地又は図面等により、不明な場合は「1. なし」を選択

BIMMS-N
官庁施設情報管理システム

ユーザー:
ユーザー名:
属性:

 ログアウト

- 保全実態調査・官庁建物実態調査
・調査票入力・閲覧
- 保全実態調査結果診断・分析
・保全実態調査結果診断・分析
・分析ツール
- 施設維持管理
・点検記録簿管理
・修繕履歴管理
・中長期保全計画作成

パスワード変更
ログアウト

部材・機器情報(電気設備)		仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
受変電	受変電 ⑦	1. なし	-	
	受変電		-	
太陽光発電・直流電源・自家発電	太陽光発電	1. なし	-	
	機器容量 (kW)		-	
	直流電源	1. なし	-	
	非常用自家発電	1. なし	-	
	発電機容量 (kVA)		-	
	常用自家発電	1. なし	-	
	発電機容量 (kVA) ⑧		-	
	分電盤 ⑨	2. あり	分電盤 (主幹 3P 225A, 分岐 22回路)	
	照明器具 ⑩	2. あり	蛍光灯 埋込・N-N-付 FHF 32W×2	
	動力盤		-	
通信・情報	電話	1. なし	-	
	時計	1. なし	-	
	拡声	1. なし	-	
	音響	1. なし	-	
	出退表示	1. なし	-	
	インターホン	1. なし	-	
	火災報知	1. なし	-	
	火災報知		-	
	機械設備	2. あり	人感センサー	
	屋外	外灯 ⑪	1. なし	-
電気設備 その他 1			-	詳細
電気設備 その他 2			-	詳細
電気設備 その他 3			-	詳細
電気設備 その他 4			-	詳細
電気設備 その他 5			-	詳細

差異が生じやすい部位→

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

電気設備(2/2):分電盤の入力例

実地又は図面等により、分電盤の仕様を変更する場合は、「1.なし」を選択

BIMMS-N
官庁施設情報管理システム

ユーザー:
ユーザー名:
属性:

ログアウト

- 保全実施調査・官庁建物実施調査
・調査票入力・閲覧
- 保全実施調査結果診断・分析
・保全実施調査結果診断・分析
・分析ツール
- 施設維持管理
・点検記録簿管理
・修繕履歴管理
・中長期保全計画作成
・中長期保全計画管理
- パスワード変更
- ログアウト

部材・機器情報(電気設備)		仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
受変電	受変電	1.なし	-	
	受変電	-	-	
太陽光発電・直流電源・自家発	太陽光発電	1.なし	-	
	機器容量 (kW)			
	直流電源	1.なし	-	
	非常用自家発	1.なし	-	
	発電機容量 (kVA)		75	
	常用自家発	1.なし	-	
通信・情報	分電盤 ⑨	1.なし	-	
	照明器具	2.あり	蛍光灯 埋込・レバー付 FHF 32W×2	
	動力盤	-	-	
	電話	1.なし	-	
	時計	1.なし	-	
	拡声	1.なし	-	
	音響	1.なし	-	
	出退表示	1.なし	-	
	インターホン	1.なし	-	
	火災報知	1.なし	-	
	火災報知	-	-	
	機械設備	2.あり	人感センサー	
	屋外	外灯	1.なし	-
電気設備 その他1	-	-	詳細	
電気設備 その他2	-	-	詳細	
電気設備 その他3	-	-	詳細	

差異が生じやすい部位→

次に【詳細】をクリックして追加設定情報画面を表示

⑨-2

別画面の「追加設定情報」へ諸元を入力

- ・部材・機器仕様に名称を入力
- ・単価は実情に応じて入力
- ・数量を入力
- ・単位は「台」
- ・更新周期は「20年」

部位	部材・機器仕様	単価	数量	単位	更新周期
電気設備 その他1	分電盤				

保存 閉じる

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

機械設備(1/2)

実地又は図面等により、不明な場合は、「2.あり」を選択
 ただし、「倉庫」及び「車庫」に初期設定値を使用すると高コストとなる傾向がある。
 実情にあわせて変更する場合は次頁の⑬-1及び⑬-2を参照

BIMMS-N
 官庁施設情報管理システム

ユーザー:
 ユーザー名:
 属性:

[ログアウト](#)

- 保全実施調査・官庁建物実施調査・調査票入力・閲覧
- 保全実施調査結果診断・分析・保全実施維持管理結果診断・分析

差異が生じやすい部位→

- 調査関連資料
- TOP
- パスワード変更
- ログアウト

部材・機器情報(機械設備)			
部位	仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
熱源機器	中央方式(冷凍機)	1.なし	-
	中央方式(冷温水発生機)	1.なし	-
	中央方式(冷温水発生機)	1.なし	-
	中央方式(ボイラー)	1.なし	-
空調機	空調機 ⑫	1.なし	-
	空調機	-	-
	空調機	-	-
	ダクト	-	-
	配管	-	-
換気機器	換気機器 ⑬	2.あり	遠心送風機 #3×6,000m3/h
	換気ダクト	-	換気用ダクト(長方形) 0.5mm
排煙	排煙 ⑭	1.なし	-
	排煙ダクト	-	-
衛生器具	衛生器具 ⑮	1.なし	-
給水	給水 ⑯	5.直結方式	-
	給水	-	-
給湯	給湯	1.なし	-
	給湯	-	-
排水	排水ポンプ ⑰	1.なし	-
	排水管 ⑱	1.自然放流・建物内分流	炭素鋼管(白,排水) 50A
	排水管	-	排水管 100A
消火	屋内消火栓ポンプ	1.なし	-
	屋内消火栓	1.なし	-
	消火配管	1.なし	-
	スプリンクラー	1.なし	-
	不活性ガス	1.なし	-
浄化槽	浄化槽	1.なし	-
昇降機	昇降機①	1.なし	-
	台数		1
	昇降機② ⑲	1.なし	-
	台数		
機械設備 其他 1	-	-	詳細
機械設備 其他 2	-	-	詳細
機械設備 其他 3	-	-	詳細
機械設備 其他 4	-	-	詳細
機械設備 其他 5	-	-	詳細

実地又は図面等により、不明な場合は「1.なし」を選択

実地又は図面等により、不明な場合は「1.なし」を選択

トイレが有れば「2.あり」
無ければ「1.なし」を選択

水栓が有れば「5.直結方式」
無ければ「1.なし」を選択

水栓又はトイレが有れば
「1.自然放流・建物内分流」
無ければ「空欄」を選択

実地又は図面等により、不明な場合は「1.なし」を選択

(参考)中長期保全計画の見直し(倉庫・車庫)

機械設備(2/2):換気機器の入力例

実地又は図面等により、換気機器の仕様を変更する場合は、「1.なし」を選択

BIMMS-N
官庁施設情報管理システム

ユーザー:
ユーザー名:
属性:

ログアウト

■ 保全実施調査・官庁建物実施調査
■ 設置量入力・閲覧

■ 調査関連資料
■ TOP
■ パスワード変更
■ ログアウト

部位	仕様選択欄	部材・機器仕様	追加設定情報
熱源機器	中央方式(冷凍機)	1.なし	-
	中央方式(冷温水発生機)	1.なし	-
	中央方式(冷温水発生機)	-	-
	中央方式(ボイラー)	1.なし	-
空調機	空調機	1.なし	-
	空調機	-	-
	空調機	-	-
	ダクト	-	-
換気機器	換気機器	1.なし	-
	換気ダクト	-	-
排煙	排煙	1.なし	-
	排煙ダクト	-	-
衛生器具	衛生器具	1.なし	-
給水	給水	5.直結方式	-
	給水	-	-
給湯	給湯	1.なし	-
排水	排水ポンプ	1.なし	-
	排水管	1.自然放流・連	-
	排水管	-	-
	屋内消火栓ポンプ	1.なし	-
	屋内消火栓	1.なし	-

差異が生じやすい部位→

別画面の「追加設定情報」へ諸元を入力

- ・部材・機器仕様に名称を入力
- ・単価は実情に応じて入力
- ・数量を入力
- ・単位は「台」
- ・更新周期は「20年」

追加設定情報

部位	部材・機器仕様	単価	数量	単位	更新周期
機械設備 その他 1	換気機器				

⑬-2

保存 閉じる

機械設備 その他 1	台数					⑬-1
機械設備 その他 2	-					詳細
機械設備 その他 3	-					詳細
機械設備 その他 4	-					詳細
機械設備 その他 5	-					詳細

次に【詳細】をクリックして追加設定情報画面を表示

3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し④ 直近の改修・更新履歴を反映する

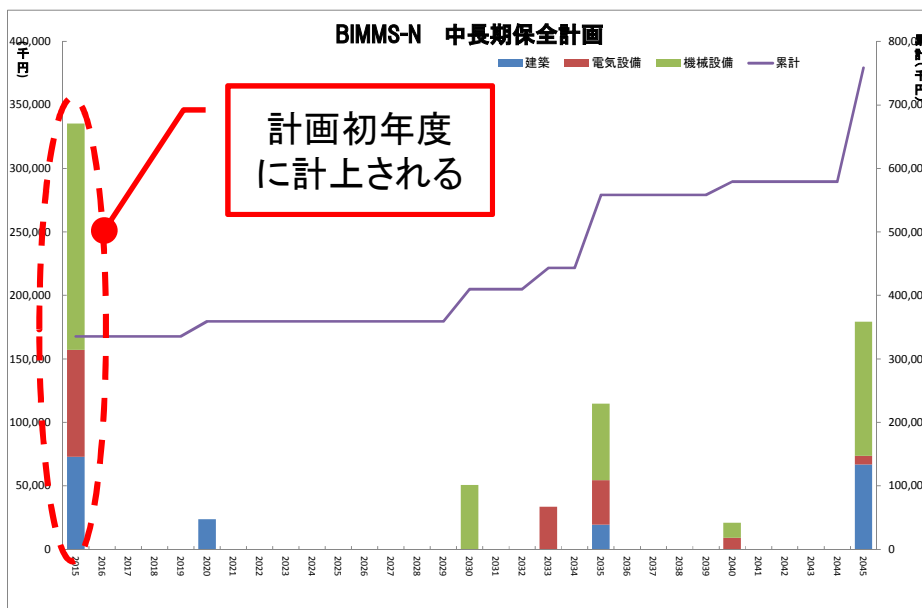
- 【更新履歴情報】画面に、部材・機器ごとの次回更新年度が自動計算されますが、過去に更新年度を迎えたものは、計画初年度(調査年度)にそれらの更新費用(直近の更新年度のものに限る)が計上されます。
- 過去の更新状況等を適切に反映させることにより、次回更新年度を補正することができます。

BIMMS-N 施設維持管理 >> 施設選択 (施設維持管理) >> 建築物選択 >> 中長期保全計画作成
施設名称: [講堂合用] (東工大研楼) 庁舎 (1階)

外壁の更新周期(標準値)は20年であるため次回更新年度は2000年となるが、調査年度が2015年度であるため、計画初年度で算定される。(他の部位も同様)

部位	仕様の呼称	部材・機器仕様	次回更新年度 (自動算定)	更新状況 (年度)	次回更新年度 (補正入力)
屋根	屋根	3.シート防水	シート防水	2015	
外壁	外壁	2.吹付吹付	厚付け仕上げ塗材E種	2015	
	外壁		外壁パネル (吹付吹付)	2015	
外部窓	外部窓	3.連窓	700×1,500×70	2020	
	外部窓	2.吹付吹付	700×1,500×120	2045	
内部窓	内部窓	2.窓	窓ガラス単体 (900×2,000×120)	2015	
内部床	内部床	2.フローリング	フローリング (シート下地)	2015	
内部壁	内部壁	2.加硫口 (壁紙)	壁紙 (GL工法, GB, t=12.5+12.5)	2015	

中長期保全計画Excelシート4 (LCC算出グラフ)



3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し④ 直近の改修・更新履歴を反映する

- 【更新履歴情報】タブをクリックします。
- 【更新履歴情報】画面が表示されたら、「更新状況(年度)」に、部材・機器を改修・更新した直近の年度を入力します。
- 入力完了したら、「変更を保存」をクリックします。

【更新履歴情報】画面

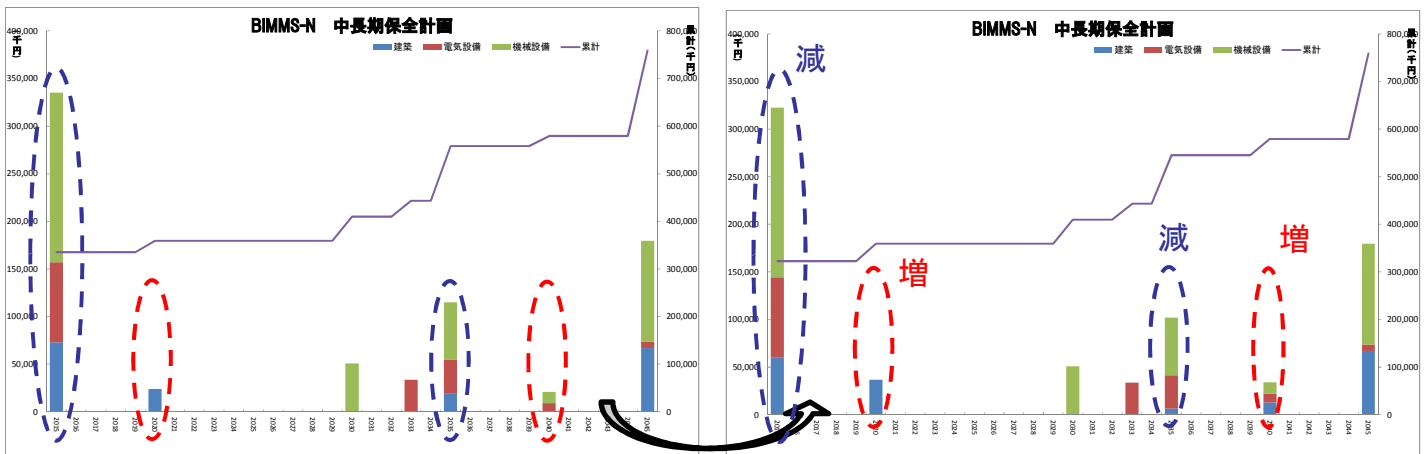
「更新状況(年度)」に部材・機器を改修・更新した年度(直近)を入力

「変更を保存」をクリック

部材	設備情報(建築)	仕様選択欄	部材・機器仕様	次回更新年度(自動算定)	更新状況(年度)	次回更新年度(補正入力)
		3.5-1防水	シート防水	2015		
		2.砂吹付	厚付け仕上げ塗材E種	2020	2000	
			外壁シロク(セリシロク系)	2015		
外部窓				2015		
内部天井				2015		
内部床	内部床	2.カーペット	糸状ベタ断熱(コンクリート下地)	2015		
内部壁	内部壁	2.加塗り(壁紙)	E種耐水珪藻土(G.L.G.系) (t=12.5~12.5)	2015		

建築年次: 1980年1月
 調査年月日(計画策定年月日): 2015年7月
更新状況(年度): なし
 次回更新年度(補正入力): なし

建築年次: 1980年1月
 調査年月日(計画策定年月日): 2015年7月
更新状況(年度): 外壁 2000年1月 (周期: 20年)
 次回更新年度(補正入力): なし

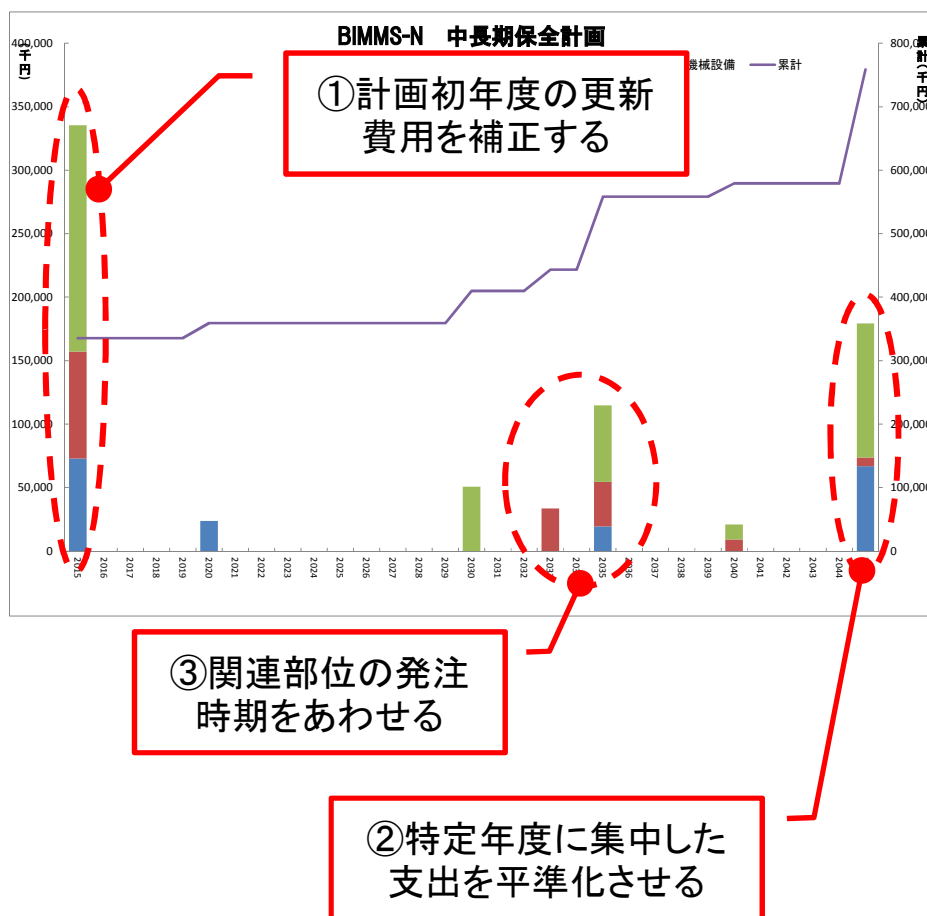


3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し⑤ 次回更新年度を設定する

- 【更新履歴情報】画面の「次回更新年度(補正入力)」は、次回の更新年度を任意に入力できるため、既に更新時期が過ぎていないが更新していない部材・機器等の次回の更新時期を、実際の劣化状況等に応じて任意に設定することができます。
- また、次回の更新年度を任意に設定することにより、更新時期や費用が特定の年度に集中しやうないように平準化を図ることもできます。
- さらに、関連する部位の更新時期を同一年度に設定することにより、修繕計画の合理化を図ることもできます。

本見直しの目的



3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し⑤ 次回更新年度を設定する

- 【更新履歴情報】タブをクリックします。
- 【更新履歴情報】画面が表示されたら、「次回更新年度(補正入力)」に、自ら設定した次回の更新年度を入力します。
- 入力完了したら、「変更を保存」をクリックします。

BIMMS-N
 更新履歴情報管理システム
 ユーザー: []
 ユーザー名: []
 属性: 各担当担当

ログアウト

更新履歴情報 (機械設備)

②

「変更を保存」をクリック

「次回更新年度(補正入力)」に任意に設定した更新年度を入力

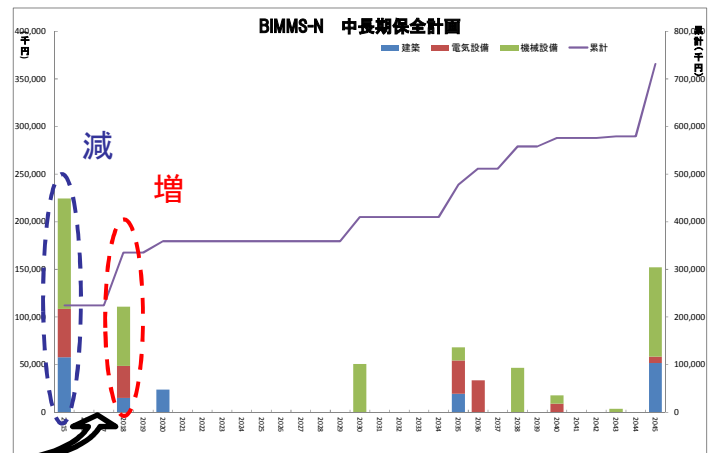
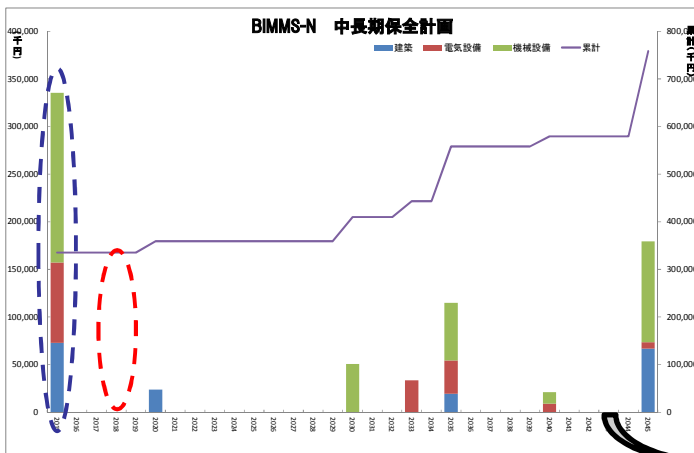
①

【更新履歴情報】画面

部位	部位	仕様選択種	部材・機種仕様	次回更新年度 (自動算定)	更新状況 (年度)	次回更新年度 (補正入力)
空調機	2.あり		造形機(限-1)2017 電力 265kW	2015		
	1.なし		-	2015		
			中央方式(ボイラー)	2015		
空調機	2.あり		誘引型空気ろ-ろ- (要表) 換気 換気量 650kg/h	2015		2018
	2.金空方式		121形空調機 ACU-125 画 画 12,500m3/h	2015		2018
			電気集塵機 (る材併用形) 12,500m2/h	2015		2018
換気設備	2.あり		/h	2015		
			換気ダクト	2015		
排塵	2.あり		排塵機 #3x7,200m3/h	2015		
			排塵ダクト	2015		
排塵	2.あり		排塵機 #3x7,200m3/h	2015		
排塵	2.あり		排塵ダクト	2015		
排塵	2.あり		排塵機 #3x7,200m3/h	2015		
排塵	2.あり		排塵ダクト	2015		

建築年次: 1980年1月
 調査年月日(計画策定年月日): 2015年7月
 更新状況(年度): なし
 次回更新年度(補正入力): なし

建築年次: 1980年1月
 調査年月日(計画策定年月日): 2015年7月
 更新状況(年度): なし
 次回更新年度(補正入力): 内部天井 2018年
 照明器具 2018年
 空調機 2018年



3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し⑥ 単価、数量、更新周期を変更する

- ダウンロードした中長期保全計画表(Excelシート)を開いて、シート「2_入力チェックシート」を表示します。(この作業はBIMMS-Nで行うことはできません。)
- 緑色の箇所に、変更したい単価、数量、更新周期を入力します。
- 入力が完了したら、Excelシートを上書き保存します。
- Excelシートで修正した内容をBIMMS-Nに反映させるためには、続いてインポート作業が必要となります。

中長期保全計画Excelシート2(チェックシート)

BIMMS-N 中長期保全計画

【2入力チェックシート】入力項目の確認と単価等の修正(実数値による保全計画)

■入力項目の確認			■単価等の修正			■更新年度等算出								
部位	該当の有無	部材名称	単価(円)	数量	単位	金額(円)	周期	次回更新年	2015	2016	2017	2018	2019	2020
屋根		金属	5,538		㎡		30							
		スレート(波板)	3,899		㎡		30							
	○	シート防水	5,311	1.22	㎡	6,530,475	20	2015	6,530					
		塗膜防水	7,117		㎡		20							
		アスファルト露出防水	5,511		㎡		20							
		かわら類	6,677		㎡		30							
		アスファルト防水押えコンクリート	9,700		㎡		30							
		その他()												
小計									6,530	0	0	0	0	0
外壁		外壁シリング(ホリサルファイド系)	1,838		㎡		15							
		モザイクタイル張(マスク張)	9,799		㎡		40							
	○	厚付け仕上げ塗材E種	5,400	2.34	㎡	12,855,659	20	2015	12,856					
		複層仕上げ塗材(コンクリート下地複層塗材CE)	6,300		㎡		15							
		花崗岩張(1等品本磨乾式工法40)	81,255		㎡		65							
		ハネル張(押出成形セメント板フラットハネル50t)	13,900		㎡		30							
		カーテンウォールPC製二丁掛タイル(t=120)	54,838		㎡		65							
		その他()												
小計									12,856	0	0	0	0	0
外部窓	○	アルミ製片引窓(1,700×1,500×70)	53,900	44	所	23,769,900	40	2020						23,770
		鋼製片開扉SOP(900×2,000×120)	77,600		所		30							
外部建具	○	ステンレス製片開扉(900×2,000×120)	558,938	2	所	13,415,112	65	2045						
		その他()												
小計									0	0	0	0	0	23,770
内部建具	○	鋼製軽量片開扉(900×2,000×120)	69,900	18	所	12,651,900	30	2015	12,652					
小計									12,652	0	0	0	0	0
内部床		ビニル床シート張(コンクリート下地, NO発泡層なし)	3,300		㎡		30							
	○	タイルカーペット敷(コンクリート下地)	6,000	2.44	㎡	14,786,400	30	2015	14,786					
		タイルカーペット敷(アークセクタフロア(500×500H=100))	22,039		㎡		65							
		タイル張(磁器質100×100)	15,000		㎡		65							
		磁器板張り	23,500		㎡		30							
		畳敷き	13,000		㎡		30							
		その他()												
	小計									14,786	0	0	0	0
内部壁		内壁 ボードEP	6,638		㎡		30							
	○	ビニルクロス張(GL工法, GB, t=12.5+12.5)	9,300	1.16	㎡	10,938,259	30	2015	10,938					
		タイル張(磁器質100×100)	10,938		㎡		65							
		ウォールナット練付張(t=9, 胴縁共)	12,500		㎡		30							
		可動間仕切壁(H=3,000)	21,000		㎡		40							
		その他()												
小計									10,938	0	0	0	0	0
内部天井		ロックウール化粧吸音板張(PB下地 t=9.5 t=12)	7,300		㎡		30							
	○	化粧石膏ボード貼	3,700	3.99	㎡	15,073,875	30	2015	15,074					
		ビニルクロス張(GB下地t=9.5)	6,800		㎡		30							
		システム天井	35,300		㎡		40							
		合板張り	10,700		㎡		30							
		アルミモールディング張(W=100)	12,800		㎡		40							
	その他()													
小計									15,074	0	0	0	0	0
建築その他														
小計									0	0	0	0	0	0
建築合計									72,897	0	0	0	0	23,770

単価、数量、更新周期を変更したい場合は、緑色の箇所に入力。

3.2 中長期保全計画の見直し

計画の見直し⑥ 単価、数量、更新周期を変更する

- 中長期保全計画作成の【インポート】タブをクリックします。
- 【インポート】画面が表示されたら、「参照」をクリックして、修正した中長期保全計画表を選択します。
- 「インポート」をクリックしてデータを取り込みます。
- どの施設の建築物でもインポートすることが可能ですので、必ず施設名称及び建築物名称を確認してインポートしてください。

【インポート】画面

「インポート」をクリック

「参照」をクリックして、BIMMS-Nに取り込む中長期保全計画(Excelファイル)を選択。

3.3 中長期保全計画の集計

- 施設内に複数棟の建築物がある場合、それぞれの中長期保全計画を集計することにより、施設全体の修繕費の大まかな総額を把握することができます。
- 中長期保全計画の集計を行うためには、中長期保全計画表(Excelシート)をBIMMS-Nにインポートする必要があります。(中長期保全計画表を修正していなくても必要)

集計フロー

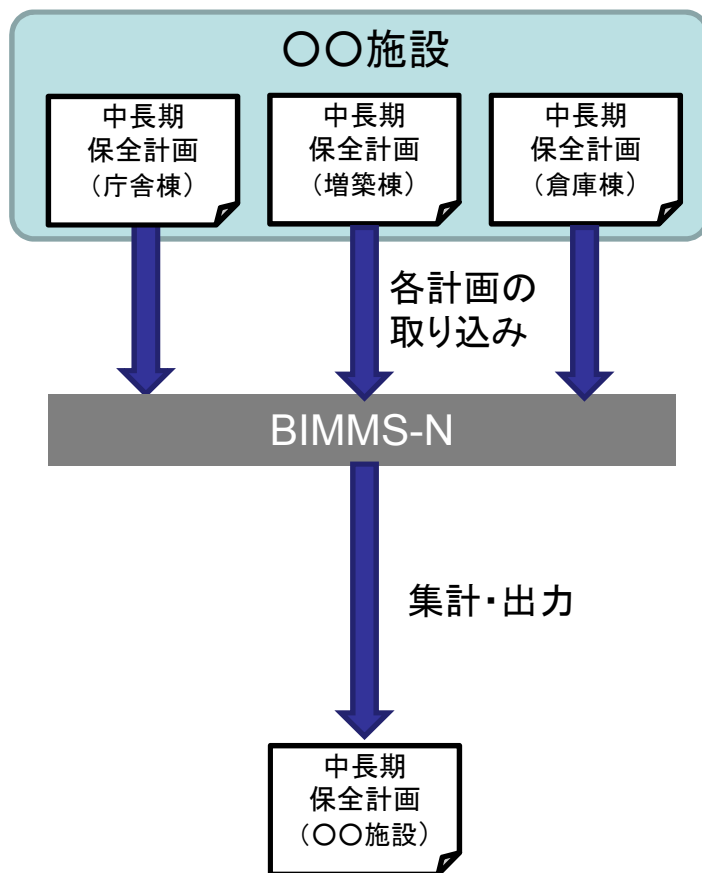
集計手順①(p.47)

Excelファイルのインポート

集計手順②(p.48)

中長期保全計画のダウンロード

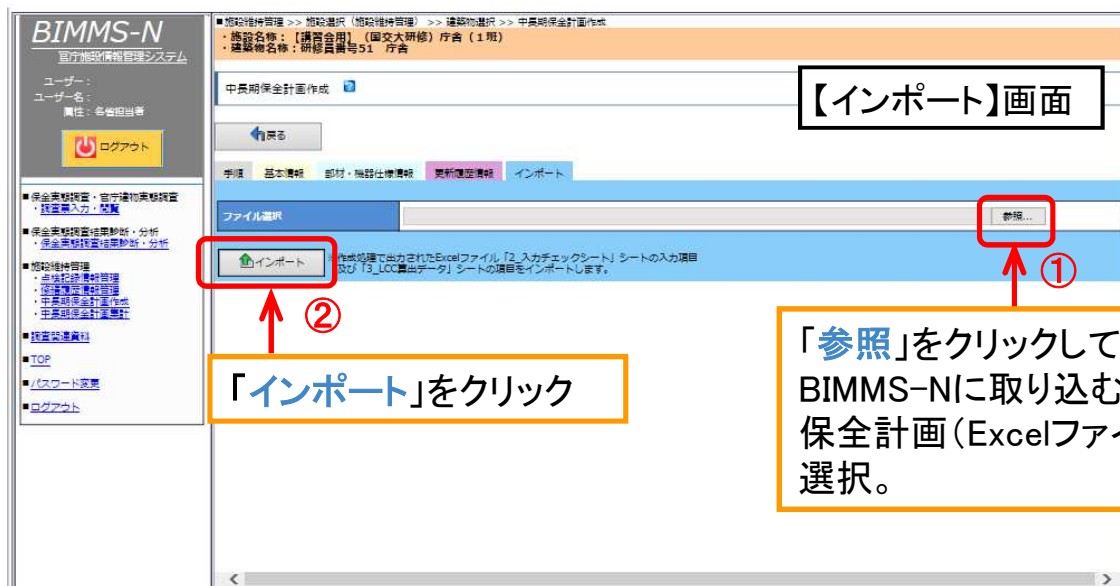
中長期保全計画



3.3 中長期保全計画の集計

手順① Excelファイルのインポート

- 中長期保全計画作成の【インポート】タブをクリックします。
- 【インポート】画面が表示されたら、「参照」をクリックして、BIMMS-Nに取り込む中長期保全計画表(Excelファイル)を選択します。
- 「インポート」をクリックしてデータを取り込みます。
- どの施設の建築物でもインポートすることが可能ですので、必ず施設名称及び建築物名称を確認してインポートしてください。

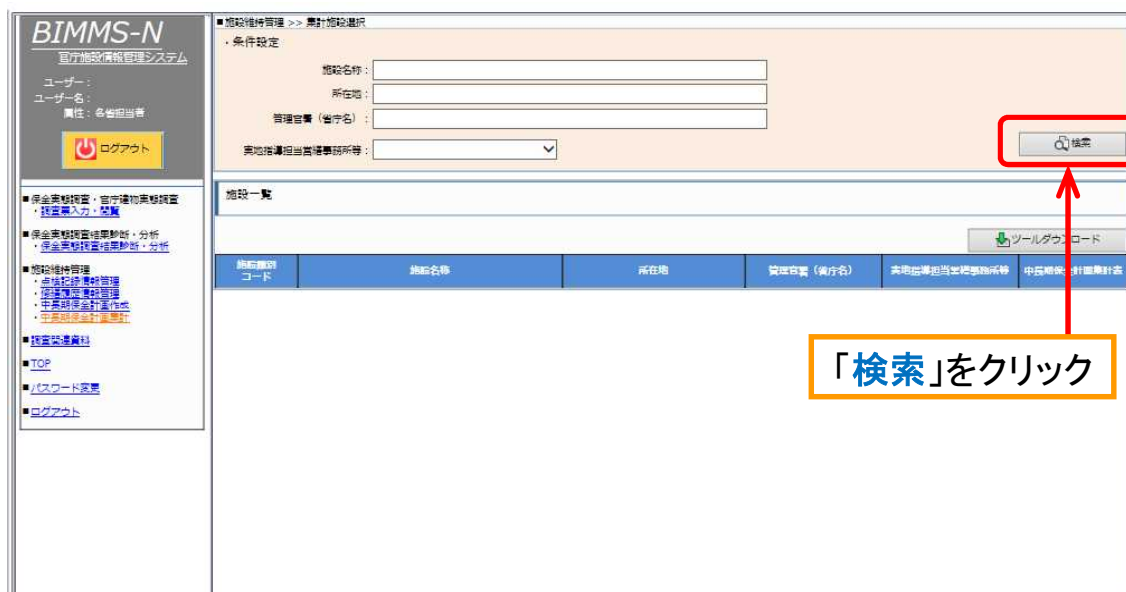
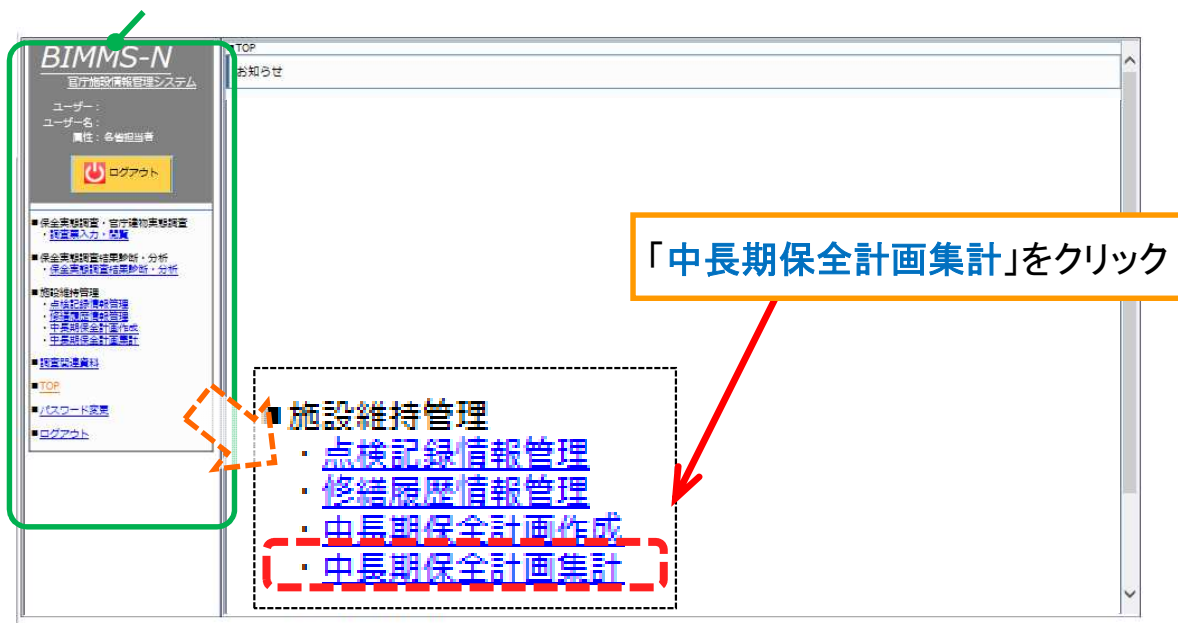


3.3 中長期保全計画の集計

手順② 中長期保全計画のダウンロード

- BIMMS-Nの画面左側のグローバルナビゲーションから、「中長期保全計画集計」をクリックします。
- 施設検索画面が表示されたら、「検索」をクリックします。（検索条件の入力は不要です。）

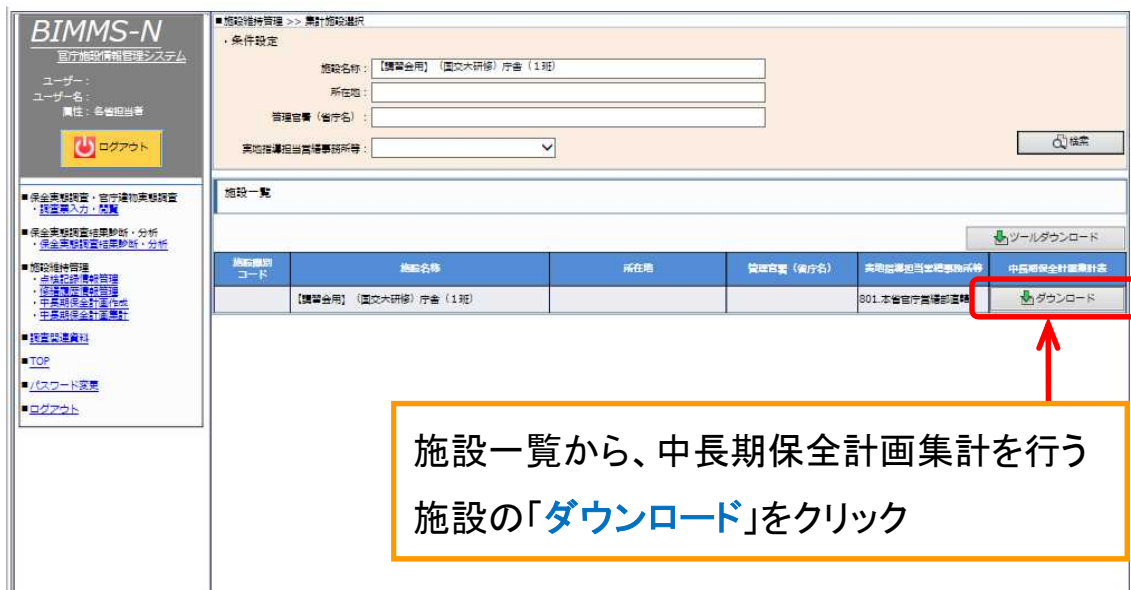
グローバルナビゲーション



3.3 中長期保全計画の集計

手順② 中長期保全計画のダウンロード

- 中長期保全計画の集計を行う施設の「ダウンロード」をクリックします。
- ダウンロードしたデータが施設全体の中長期保全計画となりますので、任意のフォルダを作成し、データを保存してください。



The screenshot shows the BIMMS-N web application interface. On the left is a sidebar with navigation links. The main content area is titled '施設維持管理 >> 集計施設選択' and contains search filters. Below the filters is a table with the following data:

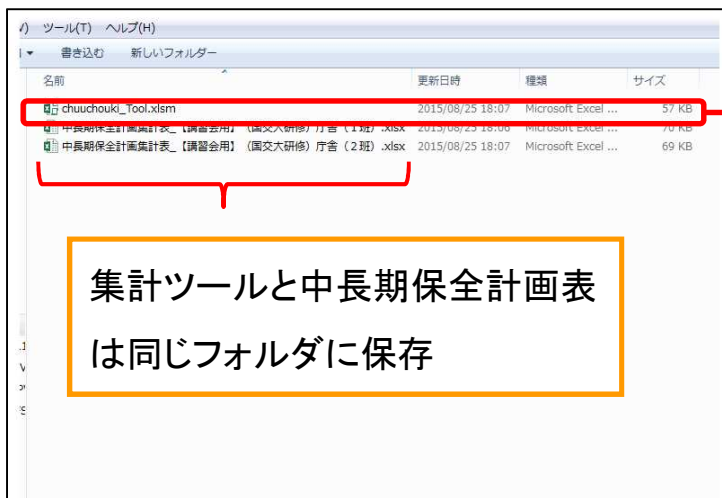
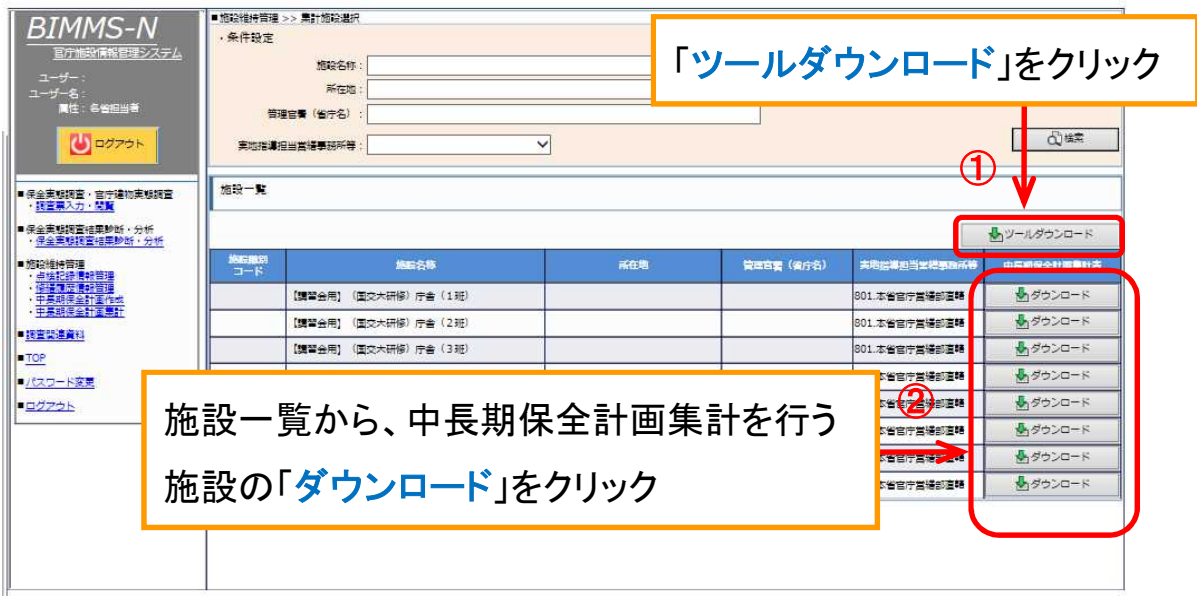
施設識別コード	施設名称	所在地	管理官署(県庁名)	実施担当担当部署名称	中長期保全計画集計表
	【購買会用】(国大木研楼)庁舎(1班)			801.本省官庁管理部署名称	ダウンロード

A red box highlights the 'ダウンロード' button in the table, and a red arrow points to it from the text box below.

施設一覧から、中長期保全計画集計を行う施設の「**ダウンロード**」をクリック

(参考)中長期保全計画の集計(複数施設)

- 複数施設の中長期保全計画を集計することにより、ブロック機関等において所管施設の修繕費の大きな総額を把握することができます。
- 「ツールダウンロード」をクリックして、「chuuchouki_Tool.xlsm」をダウンロードし、データを所定のフォルダに保存してください。
- 中長期保全計画の集計を行う施設の「ダウンロード」をクリックし、データを集計ツールと同じフォルダに保存してください。同じフォルダに保存しないと、集計データを作成することができません。
- 「chuuchouki_Tool.xlsm」ファイルを起動し、シート「メイン画面」にある「取り込み」をクリックします。



【メイン画面】シート

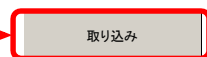
【本ツールの説明】
本ツールは、官庁施設情報管理システム
官庁施設情報管理システムの中長期保

【本ツールのシートの説明】
メイン画面:
本ツールの説明、各EXCELを本ツールに取り込む「取り込み」ボタンがあります。
部別集計:
各"中長期保全計画集計表.xlsx"のうち、部別集計表を取り込み、合算した結果です。
合計値集計:
各"中長期保全計画集計表.xlsx"のうち、合計値集計表を取り込み、合算した結果です。
取り込み結果:
各"中長期保全計画集計表.xlsx"の取り込み結果を表示します。
ワーク:
自由に使用できるワークシートです。メモ書きなどにご利用ください。

【本ツールの利用方法】
①「メイン画面」シートを開き、「取り込み」ボタンをクリックしてください。
②各EXCELのデータが本ツールに取り込まれ、各集計表で合算が行われます。

【ご利用にあたっての注意】
本ツールと各中長期保全計画表を同じフォルダに配置して使用してください。
また、以下の点にご注意ください。
① EXCELファイル以外には取り込み対象外となります。
② EXCELファイル内の表フォーマットが不正であると判断された場合、該当ファイルは取り込み対象外となります。取り込み対象外となるファイルは以下のようなファイルです。
・部別集計シート、合計値集計シートが存在しない。
・ヘッダ部分に存在するシステム名称に誤りがある。
・ヘッダ部分の特定項目(施設名称、施設識別コード)の表記に誤りがある。
③ EXCELファイル内に空行(データが入力されていない行)があった場合、該当行は合算対象外となります。
④ 部別集計表について、部に本EXCELに登録されていない値が入力されていた場合、該当行は合算対象外となります。

「chuuchouki_Tool.xlsm」ファイルを開き、シート「メイン画面」にある「取り込み」をクリック



(参考)中長期保全計画の集計(複数施設)

■ 「chuuchouki_Tool.xlsx」ファイルに部位別集計、合計値集計一覧が表示されます。

「chuuchouki_Tool.xlsx」Excelシート(部位別集計)

施設名称	施設識別コード	建築年月	建築物識別コード	棟番号	建築物名称	延べ面積(国財 m ²)	調査年月(計画策定年)	部位	2015	2016	2017	2018	2019	2020
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		42	研修員番号42 庁舎	6,100.00	2015年7月	昇降機	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		42	研修員番号42 庁舎	6,100.00	2015年7月	機械設備その他	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	屋根	0	0	0	0	0	6,530
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	外壁	0	0	0	0	0	12,856
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	外部窓・外部建具	0	0	0	0	0	23,770
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	内部建具	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	内部床	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	内部壁	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	内部天井	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	建築その他	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	受変電	0	0	0	0	0	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	太陽光発電・直流電源・自家発電	0	0	0	0	0	6,526
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	電灯・動力	0	33,537	0	0	0	13,188
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	通信・情報	0	0	0	0	0	15,165
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100.00	2015年7月	屋外	0	0	0	0	0	169

「chuuchouki_Tool.xlsx」Excelシート(合計値集計)

施設名称	施設識別コード	建築年月	建築物識別コード	棟番号	建築物名称	延べ面積(国財 m ²)	調査年月(計画策定年)	2015	2016	2017	2018	2019	2020
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		1	研修員番号1 庁舎	6,100	2015年7月	977,343	0	0	0	0	41,343
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		15	研修員番号15 庁舎	6,100	2015年7月	324,823	0	0	0	0	41,343
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		22	研修員番号22 庁舎	6,100	2015年7月	111,794	120,613	141,423	30,542	44,865	0
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		25	研修員番号25 庁舎	6,100	2015年7月	334,684	0	0	0	0	165,193
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		40	研修員番号40 庁舎	6,100	2015年7月	0	0	0	0	0	23,770
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		42	研修員番号42 庁舎	6,100	2015年7月	0	0	0	0	0	23,770
【講習会用】(国交大研修)庁舎(1班)		1980年1月		51	研修員番号51 庁舎	6,100	2015年7月	3,026	33,537	0	0	0	124,901
【講習会用】(国交大研修)庁舎(2班)		1980年1月		2	研修員番号2 庁舎	6,100	2015年7月	343,715	0	0	0	0	41,343
【講習会用】(国交大研修)庁舎(2班)		1980年1月		11	研修員番号11 庁舎	6,100	2015年7月	0	0	0	0	0	41,343
【講習会用】(国交大研修)庁舎(2班)		1980年1月		19	研修員番号19 庁舎	6,100	2015年7月	339,033	0	0	0	0	165,193

(参考)改訂履歴

改訂時期	改訂内容
H27.10	策定
H28.4	3.2「中長期保全計画の見直し」において、施設用途を踏まえた見直し例（宿舎、倉庫、車庫）を追加